

唐詩選解卷下

五言絕句

五言絶句ハムツカシイモシテ作りリクイ。七言絶句ヨリ古イ。一體チヤ六朝時分カラアル韻字ナドモ仄音ノ処モアリ。克クシテツクルカヨイ

題袁氏別業

賀知章

袁氏ノシモトキヅレラサ  
ソヒ合テキタモノトミユル

主人不相識 偶坐爲林泉

思ヒヨラス此ノ処キテイルハナニ  
タタソ林泉ノスダレタユチヤ主人

誰上云人カハ知ラズアノ方カラヨブデモナク。外カライキヤレト云タデモナイ。  
主人ヲヒラタモガヨフシテイルガ風流チヤノ偶坐ハナニトナラ坐シタト云フ

莫謾愁沽酒 囊中

自有錢

賀知章カ此ノ処來リ。酒店カラ酒ヲトリヨセ近付デモナイ。何ノ辨モナク謾ニノムユア  
ホトノ錢ハヨザルト主人ヲナフルヤウニ云カ甚タアイサツモナリ。林泉ヲ慕フ意カフカイ。ナゼナレバ此ノ  
風景ヲミステハトフモカエラレステマテ。沽テナリトモ。マイデハト云カ主人モ悦フチヤカクイハ下劣ニ

キユレヒ却テ  
風流デアアル

夜送趙縱

楊炯

故郷へ還フ送ルナリ。  
夜上云字ニ心ヲツクヘシ

趙氏連城壁 由來天下傳

下和カ玉。秦ノ昭王ノ方カラ趙王ニ書ヲヨモテ  
十五城ニカエヤウト云タ名高イ玉テ天下ニ傳テ

誰レ知ラヌモノハナイ。今ニ  
ユク入ノオヲ玉ニ比シテ云

送君還舊府 明月滿前川

趙氏カ玉ヲ秦ノ方ヘトラレシムナ処ヲ  
トリカエシタフカアル題ニ夜トアルニ明

月ノ字ヲリ合テリ合セタモノチヤ君ハト趙氏テ而カモ趙璧ノ如キオナルニ其才賢天下ニ傳テ誰知ラヌ者モナク名高イ人ナルニ今昔舊府ニカエラハ五ノカエルカ如ク名譽ノ光リハ明月ノ前川ニミチタ如クチヤ此ノヤウナ人ニワカルハ別ニテサシ子ニツズル

易水送別

駱賓王

實王カ人ヲ送ルニツ此地別燕丹壯士髮衝冠昔此ノ処ハ荆軻カ燕ノ太子丹ニタノレ讐ヲ報シテ秦ニ行ク時髮友ノモカ立テ冠ヲツクヤウニ有タ上云歌曰風蕭蕭兮易水寒壯士去兮不復還ト云々其氣象ナ出立ヲミレバソツトスルヤウニ有タト云カ今此ノ処テ別ルニツイテヤリ昔太子丹ニ別レタ時ノヤウナルト全體男立ノ氣象ヲ以テ作タモガヤ昔時人已沒今日水猶寒其荆軻カ死シテ跡方モナケレバ今日此ノ易水ヲ見レハ猶寒ソツイスルヤウニアル昔ヲミルヤウチヤカクハ送別ノヤウニナケレバ今別ルハ人モ氣象ニシテ悲歌慷慨ニユクコウ云々モノヂヤ

贈喬侍御

陳子昂

邊塞アタリノ目付役ヲ能クツトメモ漢庭榮巧宦雲閣薄邊功漢ノ代ハウソサヲ云テ余リ見出サレズヨイ官モツカスライフ可憐驄馬使白首為誰雄邊塞ノハガナクテモ奉公ブリガヨケレバ皆高官ニボル吾ラガヤウニ切ラ立ルモノハ却テ其功ヲ薄セラレテ用イラレヌ功アルモノヲ畫テ重ズルナル驄馬ニ乘テ白首ニテ邊塞ノ功ヲ立ヤウイ思テ氣象ヲ出サレバ是ハ誰カ為ゾ君ノ為ナレバ見出スモノナイハ外カラミルモ笑止ニ存スル可憐トモツテミルレノ巧宦ハ人ノ功ナ

クハ高官ニツクヲ云ノ雲閣ハ雲臺也漢明帝名臣ヲ圖シテ此閣ニ列ヌ○驄馬ハ青白毛ノ馬ヲ云後漢ノ桓典侍御史トナル常驄馬ニ乘テ往來ス京ニテ驄馬御史ト号ス此時宦官推ラトル桓典ハ剛正ノ人ニテ宦官ヲ恐レズ宦官却テ桓典ヲ避

子夜春歌

樂府題ナリ閨怨ナリ

郭振

陌頭揚柳枝已被春風吹閨女カ春ノ風景ニ感シテ心ヲヒキイダサレ陌頭ハ揚柳ノ風ニチダ

妾心正斷絶君懷那得知妾トハ夫ニ對シテ云詞ナリトカハ心ハタチキルヤウデアアル夫ハ遠國ニイテタシク便リモナイカ大方ハラカフヲ思ヒテイラレテアラフ吾ガ

コノ思フレラセタイモノチヤ君懷那得知

南樓望

盧僊

此ノ詩ニ説アリ盧員外ガ故郷ガ三巴テ此ノ処來リ據ヨリミレハ故郷ハ遠イト云説モアリ故郷ハ外テ三巴ニ來テミレハ故郷ハ遠イト云説モアル去國三巴遠登樓萬里

春故郷ヲナレ此ノ樓ニ登テミレハ萬里春チヤコレニシテテ故郷ヲ思出ス傷心江上客不是故鄉人旅ニイテモセメテ人ヲモア

江上ヲ通ル人モ大分アル凡知タ人ハ人モナイ心ヲイタタ九他郷アコソアル

汾上驚秋

蘇頌

漢ノ武帝ノ船アソ  
北風吹白雲萬里渡河汾  
旅ニテハ心緒逢搖落秋聲不可聞  
身ヲナゲクモアリ不仕合テ立身セズニルヲモ云○ナニヤカヤ  
愁ノアルビズン秋風ヲキケハ聞テイラレスホ悲ヲチル秋聲不可聞

蜀道後期

張說

御用テ洛陽カラ蜀道ニテ秋ニテラスウ  
客心爭日月來往預期程  
ルト日月ヲ爭イ預ヨリ程  
秋風不相待先至洛陽城  
トツタ○秋風ハ心ナケレモ心アル  
ヤウニモテスカ詩人ノモヤウチヤ

照鏡見白髮

張九齡

鏡ヲミタレハ頭ヲカミツ  
宿昔青雲志蹉跎白髮年  
自ク成タユ感ヲ起ス  
誰知明鏡裏形影自相憐  
蹉跎トケツミツキガテ  
キテ白髮年ニ成タ  
形影相憐ノミ誰モ  
ナクサメテケルモハナイ

同洛陽李少府觀永樂公主入蕃

逌

邊地鶯花少年來未覺新  
美人天上落龍塞始應春  
吾スノ方ヘヨメ  
イリテ行チヤ  
成タキヤ  
シレス

静夜思

李白

春思秋思ト同シテ夜静  
牀前看月光疑是地上霜  
疑是白霜  
擧頭望山月低頭思故郷  
思故郷ノコトヲ思  
ソウナト思テ  
ヒ出ストウハハナシノコトモナイヤウチレモ向中ニ甚タ  
面白イ情カアル是レ李白カ不用意ノ詩チヤ

怨情

美人捲珠簾深坐嚙蛾眉  
但見淚痕溼不知心恨誰  
此ノ詩ハ美人ノ情ヲ外カラ見テドノ  
ヤウニ思テイルヤラト思ヒヤツククル  
方ニイルヲ外カラ見レハ眉ヲ嚙メチニヤラモ  
思ヒガホニミユルガドフシタコヤラシレヌ  
ラミテナクヤラ外カラハトフモシレヌ  
定メテ夫ヲ思テナクデアラフ

秋浦歌

遠國ニイテ手前ノ老タラ 白髪三千丈縁愁似個長  
ナゲク雜詩ノウチナリ 愁ノアルユニヤウニ長ク成タ  
○似個去俗語テコノヤウニト云フ 不知明鏡裏何處得秋霜  
○似個去俗語テコノヤウニト云フ 三千丈ナド云ハ白ガデキロチテアル

獨坐敬亭山

敬亭山ニ坐シテイテ 衆鳥高飛盡孤雲獨去間  
山ノ風景ヲミテ作ル 今テ向ニ衆鳥モアリ下ルノ雲ナドモ有  
ト獨坐ノ意ヲ 能ク云ヒ取タ 潮水還歸海流人卻到吳  
テ動カザルモハ敬亭山ノ是ヲキリ見ルカ面白イ

見京兆韋參軍量移東陽

參軍八軍中ニテ大將ト相談スル官ノ量移ハ 潮水還歸海流人卻到吳  
役カテノコトデハ左遷セラレテユクナリ 夕海ヲミヤルデアラス  
潮ハフダヤシテ又海ヘカエルモノヂト官人モ外ザニカラ都ノ方ハ上ルカ順ナリ  
子タノトウニ都カラ遠國ノ吳國アタリノ流サレテユカルハイタワシイナヤ 相逢問愁苦淚盡

日南珠

日南ノ方ヘユカルハ悲シカラフト 夕ツヌレハ八問ハレテ日南ノモノ如ク涙ヲユボレテハニキツクス  
テアル○日南日ノ出ル処ヨリ南ノハ日カ北ノ方カラ出ルト云ヘリ日南珠ハ鮫人ノ涙ガ

臨高臺 樂府題

王維

別レタアトテ 相送臨高臺川原杳何極  
ワカレテノ夕 晚方ニテノコトヲ云○相送テ後モダナゴ  
リヲシク思テ高臺ニボリアナタノ行カタヲ望メハ

川原ノ遠ニ遠クシテアトカゲモニエヌアノ中ヲハルユカルデ 日暮飛鳥還行人去不息  
アト其ユク道スカラコトヲ思ヒツケテ見テイルウチニ 夕暮ノ鳥ノ還ルカ子テウツラト

鳥ナドモ子グラニカエルカ此ノ人ハ川原杳トシテ極リナケレハ夕宿ヲトリカ子テウツラト  
旅ノシテイルデアラスイタワシイナヤアトコトヲ言クニテニイタヒ情カアル○日暮上ガ妙境ヤ

班婕妤

婕妤ハ漢ノ成帝ニ寵セラレ後趙飛燕ガタムニ 怪來妝閣閉朝下不相迎  
寵ハタレテ太后ツキニ成テ長信宮ニイタ 義理モナイ○妝

閣ハ化粧ノ間ヲ云○化粧ノ間ナドモイラヌエヒツレト夕テコメテアル定メテ人ノアヤヒテアラスガ怪云ハ  
ツナイナセトザシテイルナレハモヲ寵愛スタレテイル朝ヨリ下リテ君ノ不相迎ハ誰ヲ目アテニダワ  
イスル 總向春園裏花間笑語聲  
コノアイダハ太后ツキモテ女中ニヒツツテリ長信ノ春園  
モノイ

リ恨カアルト悲シテイラレモノデナイハ笑語ヲナシテイルト云カ甚タ怨ノフカイ情カアルコトヲ詩  
不案内ナモノハ婕妤ハ賢ク深ト怨ハナイ此ノ詩ナドモウラニナクサラリト作テヨイト云評カア

ルツフデナイ。文選。婕妤が恨の秋扇  
ノ賦モアリ。詩ノミヤウ。不案内ナリ

雑詩

圍怨ムキフリ。宮怨ムキニテモヨイ。題カ。  
ツケラレヌ。雑詩トイイタモノナリヤ

已見寒梅發復聞啼鳥聲

月日ト云フハイソガワ  
イイモノナリヤ。冬ニテ

ルハツナイト思イタニ。已寒。梅カ開イタ又ニモナク。春ニ成テ。  
鳥ナドノ聲ガキコル。時節ト云モノハ。ナイモノナリヤ

愁心視春草復向玉階生

ヤウニ春ニ成テ。春草ヲミルニツケテモ。コノ草ガ今コソ。ア。リ。生セ子ト。チ。ハ。階ニテ生スルデアラ  
フ。キ。ドク。ニ。ソ。ソ。心。ト。也。の。女。ト。云。モ。ハ。時。節。の。ウ。ツ。リ。カ。ワ。ル。ニ。イ。テ。顔。色。モ。ガ。ワ。ル。ヲ。悲。シ。ム。ナリ

鹿柴

鹿柴ハ。輞川ニアリ。王維ト。裴迪ト。アリ。出逢テ。詩ナド  
ヲツクリ。ア。ク。シ。ダ。下。ヤ。キ。ノ。リ。廣。イ。ザ。キ。ノ。間。カ。ヤ。ウ。ス。ヲ。云

空山不見人但聞人語響

此ノ処ハ。公里  
モ。遠。イ。空

山ノノユ。往來スルモノモナク。人カケモミヘヌ。サ。ス。ガ。ニ。又。フ。ク。山。デ。モ。ナ。ク。別。業  
ナレハ。ト。フ。ヤ。ス。ノ。聲。モ。カ。ス。カ。ニ。キ。コ。ル。ヤ。ウ。ナ。ノ。人。聲。ム。ツ。ラ。レ。キ。ヲ。云

返景入深林復照青苔

上。ラ。ヤ。キ。ノ。ニ。天。未。ガ。アル。ガ。大。木。ハ。シ。タ。タ。ノ。ナ。イ。ニ。ヒ。ル。間。目。カ。ガ。ズ。コ。シ。シ。ハ。ツ。ビ。シ。ハ。ム。シ。サ。レ。又。返。景。カ。大  
ニ。木。ノ。シ。タ。ラ。ク。ツ。テ。深。林。ニ。リ。シ。コ。ハ。ゲ。サ。モ。テ。ラ。シ。タ。ガ。復。青。苔。ノ。上。ヲ。照。ラ。ス。ヲ。モ。シ。ロ。イ

竹里館

獨坐幽篁裏彈琴復長嘯

篁ハ竹ノ林ナリ。○モ。シ。ツ。カ。ナ。竹。藪。ノ。中。ニ。誰。問。フ。モ。ナ。ク。  
ヒ。リ。イ。テ。琴。ヲ。彈。シ。タ。リ。長。嘯。シ。タ。リ。シ。テ。イ。ル。限。リ。ナ。イ。タ。ノ。レ

ミチヤ。○復ノ字ニキリハ  
ナイ。カ。ル。ク。見。ル。カ。ヨ。イ

深林人不知明月來相照

唯。明。月。ノ。ミ。ヨ。カ。心。ヲ。ス。マ。シ。テ。照。ラ。シ。來。リ。ト。フ  
人。モ。ナ。イ。コ。ノ。深。林。ノ。タ。ノ。レ。ニ。ハ。誰。モ。シ。ル。マ。イ。ア

長信草

崔國輔

長信宮中艸年年愁處生

大。后。ノ。コ。ナ。サ。レ。ル。長。信。宮。ハ。人。ガ。ゲ。モ。チ。イ。処。ニ。  
艸。ガ。ハ。エ。ル。艸。ト。云。モ。ハ。愁。ノ。アル。処。ニ。生。ル。モノ。ナリ

使玉階行此ノ艸カ後ニ帝ノ珠履ハカセラレテ出御ナサレ路ハエマイ処ニ侵生ハコソテ行幸モテラ  
使玉階行ニヤウニ成タコレ帝ノヲイデガナイソフナ。吾モユクフガナラヌヲレキラフテノフテハナイ

ト艸ニ云ヒナスカ詩  
人イトリナレナヤ

少年行

遺却珊瑚鞭白馬驕不行少年ナドハ馬ヲモタキ立テクノソフナモテダマ  
ニ鞭ヲモチナガラブラリトワスレタヤウニシテユク

白馬ノノナレ驕リ立テ向ヘテカス  
ス。ム。ラ。ヒ。キ。ト。メ。テ。ヤ。ラ。ス。イ。ソ。ガ。ヌ

章臺折楊柳春日路傷情ナニエイソカヌナレハ章臺ガ遊  
女。ト。タ。ワ。レ。テ。春。日。ノ。ド。カ

送朱大入秦

孟浩然

大八兄弟行ノ 遊人五陵去寶劍直千金 遊人ハハツクユカルト思ヘハ五陵アタリユカレダ  
第一番ヲ云 ナイ今ニテコソイニシタ志シラヒラヒタイト思ヘ下フモセシカガナイ 分手脱相贈平生一片心別  
幸イ吾ガ腰ニラビタ劍ハ千金ニモアタル大事ノモノナレバ 時セメテコレナリト腰ヨリ脱出シテ相送ルガ是レテ情ガツクルト云フデナイ  
○五陵ハ漢代高惠景武昭ノ五帝ノ廟陵ナリコレヲ五陵上云陵帝主ニ奉ル所ナリ

春曉

春眠不覺曉處處聞啼鳥 春ハ子ムタイジグチレバ夜クアケルラモシラズツツラト 夜來風  
雨聲花落知多少 昨夜ハ風雨ガハケレカツタカ定テ花モ大フシ落タデアラフ春ノスキユクヲ  
惜ム情ナリ○ナシ意モイヤウナ詩ナレバ眞景實情非妙悟者不能道

洛陽訪袁拾遺不遇

洛陽訪才子江嶺作流人 才子ノ字ハ五言絶句ナドニハカク字ナレバ洛陽才子トツカハヨイ  
文選ニ此洛陽才子トツカフタカアル○都ニライテ才子ヲ問タレ  
嶺南ノ方カレイ役ニ 左遷セラレタゲナ 聞説梅花早何如此地春 子ナレユカレタ嶺南アタリハ早クアタカニ  
ナレユ花ナドモハヤクサクデアラフガ其処ニイル  
ヨリ都此地ニイルガマレテ  
アラフイタワレイフナヤ

洛陽道

儲光羲

洛陽道ト云ハ多クハ少年行ノ趣ヲ云フ 大道直如髮春日佳氣多 都ノ大道ハニツスグニイ  
此詩ハ長安道ト云レテヨリト云説アリ 大道直如髮春日佳氣多 都ノ大道ハニツスグニイ  
ゴトクデアル春日ホシノリレテノドカナ  
ナリツレタラテヒンセイナリナヤ  
鳴玉珂ト云テ兼馬ノコニナル

長安道

鳴鞭過酒肆絃服遊倡門 少年ハガムチヲナラシテ酒店ニユクチヤ絃服ノヨイ衣 百萬一  
時盡含情無片言 此ノ少年ハガムチヲナラシテ酒店ニユクチヤ絃服ノヨイ衣 百萬一  
時盡含情無片言 此ノ少年ハガムチヲナラシテ酒店ニユクチヤ絃服ノヨイ衣 百萬一

關山月

詩ノ中ニ關山ノヲ出サズニ云タ 一雁過連營繁霜覆古城 邊塞アタリテ繁霜ヲタテナラシタ  
曲中ノ關山ノ曲ヲ云ナリ 一雁過連營繁霜覆古城 邊塞アタリテ繁霜ヲタテナラシタ  
アタリ霜カ 胡笳在何處半夜起邊聲 ドコトモチク胡笳ノモノ悲イ聲ガスルガイツレノ処  
白フフリ 夜ノモノ靜ナニ都ニキナレヌ邊塞ノ聲  
俄ニ吹起スフキケハイヨクタエガタイ

送郭司倉

王昌齡

送郭司倉 王昌齡

映門淮水綠留騎主人今離別スル場ノ淮水カ門ニ湛テ綠ニアラク 明月隨良掾此月影ヲミラルハゴトニ吾ヲ思ヒ出シテクレラレヨ我モ亦淮水ノ潮ノミツル時分ニ

春潮夜夜深良善ナリノ掾ハ下役ナリ○月ノ影ガ良掾ニ隨イ行クサキドコ迄モ添テミテユカル

答武陵田太守田太守ノ方カラ定テ今迄ノ通り親レテモテモシタ

仗劍行千里微軀敢一言刺客傳ニ聶政仗劍至韓ト云語ヲ引テ吾今千里ノ旅ニ 曾爲

大梁客不負信陵恩大梁ハ魏ノ都信陵君ハ魏ノ公子無忌ナリ食客三千人アリ○コナタ

孟城昔ノ城跡ソウチ城ハ兩方ヲ少ク高クシテ中ヲヒキクソレヲ首ノヤウニ右登

結廬古城下時登古城上下ヤキノ庭ナドカラ 古城非疇昔今人自來往モトノ

鹿柴柴ハ寨ノ字ト通

日夕見寒山便爲獨往客トヤキノ庭ヲミレバ日ノクレ方ナトハ人モナクサビト 不知松林

事但有麝麝跡此ノ処來リ寒山ノ外ヲミテイル者ハ獨往ノサカイノ者ヲチケル空又此ノ外ニ松林ガ

萬國尚戎馬故園今若何故郷ハサウガキユ帰ラスイツハ歸ラト思テイタ尚トモモ 昔歸

相識少蚤已戰場多中ゴロ歸タ時分ニ隣アタリノキルツキナドモアルカナイカデアリシガソレカラ

絕句前二題カ有テ歌行カ律詩ガ有テ其次ニ

江碧鳥逾白山青花欲然川ノ水ノ湛タ処ニ白鳥ガウカデイルカ水碧リナルニ鳥ガイヨク白ク

今春看又過何日是歸年コノヤウナ春ノ景色モ早スキユクガ旅カカリシテ今年モ帰ルナラス

長干行船ツキノ名ナリ其近邊ニ商船モ多ク夫婦ツ

君家住何處妾住在橫塘女ノ方カラ隣ノ舟ノ男ヘトビニカケル此ノ処久シクミツケヌガ 停

五絶



船暫借問或恐是同郷コヤウニ惣船一処ニ居合スモ世ナラヌ縁デナル私ガ在処モコナタノヤウニ舟ニリテ諸方ヘアルキスルガ或ト云ハワルフルニ云テ感恐コナタト

同郷デアラフモシレモヒストイドミカケル也

詠史

古人ノヲ史記ナドノヤウナモノアルヲミテ其人ニシテ吾ガ身ノ上ヲ云須賈ガ故事ヲ見ルベシ

高適

尚有綈袍贈應憐范叔寒范叔ガ器量アルヲシラズタキ殺シテ厠ヘステタレタニ子ヲ使ニキレニ范叔ハワガト輕イモ、林ニ子テ賈ニアイタレハ賈范叔ガ貧ナルヲ見テ綈袍ヲアタタ後ニ范叔ガ泰ノ相國ナルヲ知テ大ニ驚タト云テガアル〇綈ハ布ノ類袍ハ絮也 不知

天下士猶作布衣者須賈ハ范叔ガ英雄ナルヲシラズイモト思テタ布衣ノ者ヲナシタハ馬鹿ナクヤト云テ手前ノ不遇ヲ憤ルデアアル

田家春望

立身モセヌニヒキコシテイテ憤ヲククシテイフ

出門何所見春色滿平蕪門ヲ出テミレハ何ニモ面白クハナク田舎ノコト可歎無知己

高陽一酒徒コノキツノ風景ヲミルニツケテモ可歎ハ誰モ知バナクモナケレハアタリホトリテ高陽子ナラヌコノヤウナ田舎キテイルモ吾ヲレモアライユニシヤ〇鄴生初テ沛公ニ見ユル時劍ヲ按テ吾ハ高陽酒徒儒生ニアラスト云タカアル

行軍九日思長安故園

西ノ方行軍カカラ大將ニ其書記後ヲ行ナラン

岑參

強欲登高去無入送酒來九月ハ高ニ登ルコトナクハ強テ登高トシモウナラフヲ送ル人モナク淵遙憐故園菊應傷戰場開遙ニ推量シ憐ハ故園ナドモ戰場トナリ上ヲミナラサレテ菊モ路バタニ開テイルデアラフ

明故事デアアル 遙憐故園菊應傷戰場開フ旅ニイルサ心ボソニ故郷ノコトヲ思ヒ合テナク

見渭水思秦川

渭水東流去何時到雍州渭水ハ西域ノサカイガレ此渭水ハ東ニ流ルハイツ都雍州ノ秦川ヘ流レ至ルデアラフ遅イカ速イカ流レユクデアラフ

吾人歸ルコトモ憑添兩行淚寄向故園流故郷ヘ流サス涙テ水カサモステアラフ

登鶴鵲樓

名高イ処テ古跡ナリ

王之渙

白日依山盡黃河入海流西ノ方ヲ見レハ高イユ日ヲ入リツクテテニユル東ノ方ヲ欲

窮千里目更上一層樓鶴鵲樓テサレ此通リチハモソツト遠イ処ノ故郷ガミタイト思テ層樓ニ上テミル鶴鵲樓ノ高カ別ノレレ

終南望餘雪

祖詠

終南陰嶺秀積雪浮雲端終南ノ余雪ヲ禁裏アタリヨリ望ムリ祖詠ガ及第ノ時試ラレタル題ナリモト排律ニ作ルモリテ有タカ四

包テモツクシタユハサレ出シタレハ後人ガトカメタレバモフユトガナイト云々是レガケツクヨイト譽メニ逢女  
ヨイ詩チヤ○今此処ヨリミルニ終南ノ背長安ノ方北陰ヲモテモ雪ガフリ埋テ浮雲ノハツレミ  
トクホド 林表明霽色城中增暮寒  
ニミユル 暮方ニミレハ寒クソツト  
スルヤウニ  
覺一ル

罷相作

李適之

避賢初罷相樂聖且銜孟  
テ云酒テモシテ祭ムカ  
ヨイ酒アレハ何モ入ラヌ  
セニ○実ハ吾擁威有夕時ハ大勢來カ  
相ヲヤメタレハ一人モコト憤ルデアリ

奉送五叔入京兼寄茶母三

李頎

陰雲帶殘日悵別此何時  
クモリタラ子タト別レハ是レハドフシタ時節ノ  
道無由見所思  
ユクイモナラヌ此段ヲ云テクシラレヨ所思トハオチカヤ思ノアルライフ

左掖梨花

左掖左ノ小門ナリ

丘爲

冷艷全欺雪餘香乍入衣  
ト外ノ花ハ紅イニ色ツヤウルワレイ冷ノ字ヲツケケルテ面白ク冷艷  
スルユハ花ソフナト思フ  
春風且莫定吹向玉階飛  
春風ガ此花ヲ吹クガトチテモ吹キ次  
第飛フガトテモ吹クナラバトソ此

雪カト思タニ在チ香イカ  
花ヲ玉階ノ方ハ吹カセタイモチヤト云ハ同シ  
官人テモ帝ノ御側チカクツタタイト云意ナリ

九日陪元魯山登北城留別

蕭穎士

綿連潢川迥杳渺鴉路深  
今ニ其元ニ別レニツイテ樓ニ登テミレ潢川ガ綿連トツキ鴉路ハ  
チニチモ杳渺トデモナクフカクドコニツイテアルレヌアノ道

彭澤興不淺臨風動歸心  
彭澤ト淵明ガ九日高ニ登ル故事チヤ淵明彭  
沢ノ令トナルト云フガアルユ元魯山縣令ニトリ合セタ

平菖曲

唐ノ世テ胡ヲ平ラケ  
夕凱歌ノ曲ナリ

劉長卿

渺渺戍烟孤茫茫塞柳枯  
戍烟ト云ハ胡サカイニ兵乱ノ時分此方カラ番手ノ者ヲツカシ置  
トナリ是レフ戍柳ハ云○今ハ邊塞モ治リテ遠見ノ番モ入ラス  
戍烟モスクナク柳モ霜枯レテ茫茫  
隴頭那用閉萬里不防胡  
隴山ハ邊塞ノ山ノ名テ關所ナ  
リ隴山ナドモ胡ガイレハトデア  
サイテ置ガ今ハ治テ胡モ打入ラスニ萬里ノ外ニ  
入ラコシテ胡ヲ防クハ今ヌカラステラクナリ

其二

絶漠大軍還平沙獨戍間 今兵乱モナク胡モ鎮タヌハ沙漠ヲ横ニ度テヨロコビデカエリ胡カウチイル時ハ平沙ニ急度守テイレ延頃ハ能ク治タヌハ戍樓ニイラズ間ニ成テイルハ絶ハ度ニナリ 空留一片石萬古在燕山 カヤウニ治タヌハ燕山アタリニ石ニ胡ヲ平ラゲタト云フヲ記シ立テ置テ萬古ノ後ニテモ人ニ知ラシムルテアル

逢俠者 男タテヲ面白イト思テツクル詩ナリ

錢起

燕趙悲歌士相逢劇孟家 燕趙ノ間ハ悲歌慷慨ノ男タテカ多イ今劇孟モ天下ニ名アル男立テ此方モ近付テ出合テミレバタノモイ人テ古ノ燕趙悲歌ノ士モ少カラヌ 寸心言不盡前路日將斜 トヨイ処テ寸心タニ逢タヌハ寸心ヒタイガアル

○劇孟洛陽人 又コト今日ハ日モクセルカラ吾カ寸心モ云ヒツクサレヌハ世上ニタノミニナルモガナイユ空フ年月ヲスグルト云フ含ムナリ

江行無題 川ハタラ通リハ名高イ匡廬山ト云フ見テ作ル

咫尺愁風雨匡廬不可登 ハ寸ヲ咫ト云フ尺ト云フ今匡廬山ヲミレバ甚タ近イユトビツカレソフナカアリフハ雨カフリ登ルノナラヌハ残念ナト愁ナリ 峒疑雲霧窟猶有六朝僧 雲霧トハ梵ナラヌ山ト云フハ六朝ハ吳晉宋齊梁陳ヲ云フ六朝ノ惠遠ナドノイラレテアラフト疑ナリ此ノ塵外景

名ヲ三ノ吾モ世トラステ引込フトゾシズル

秋夜寄丘二十二員外

韋應物

懷君屬秋夜散步咏涼天 子タノヲ常ニ思テイルガ今夜ハ別メ秋ノ夜モ靜ニ思ヒアカストヂヤ此ノヤウナ夜スガ互ニ快ク咄シタナラ面白カラフガ我ハ 山空松子落幽人應未眠 ラ散步シテ夜ノ景色ヲミレハ山モ空ヲシテ松子トカカ落

聽江笛送陸侍御

遠聽江上笛臨觴一送君 ラドコトナシチワルク笛ヲ吹ク此大コリヲシイ別レノ 還愁獨病夜更向郡齋聞 今夜ハ処ニイレ明日ハ其元ハ立去ラルハ吾ヒトリ此ノ笛ヲ郡齋ニ向テキクテ有フガ獨病ノイナレハサソ悲シカラフト思ヒヤラル

聞雁

故園眇何處歸思方悠哉 吾ガ故郷モ思ヒヤラヌホド遠ク何レノ処チヤラシヌハ思ヒ出テ居 淮南秋雨夜高齋聞雁來 ラ此ノ歸思ノナガイリカラ淮南ア秋雨ヲキクノナレハ入タエラヌ吾ガイル

高齋アタリ雁飛來ルヲキケハナラキ愁ガ物ゴト皆  
カナレトナルヲダヤ高齋ハ郡齋ト同レク居家ナリ

答李漸 李漸ガ隱者ノヤウニテイルト云テコレツラン  
ソレヲサノ静カデアラフト思ヒヤツテ云テヤル也

林中觀易罷溪上對鷗閒 今ソナタニハ隱者トナリ林中ノ静ナ処引込テ常ニ易ヲミテイラ  
ルデアラフソレモ心ニトメテセイヲ出シテ見ルト云フモナク退屈シタ時

楚俗饒詞客何人最往還 詞客ハ詩文章ニ長レタル人ナリコナタ  
イラルハ楚國ノ近処ト云ルハ楚國

屈原ガ文章ヲ書出シタ処チヤカラ今ニスグレタ  
モノガ多イガ子タノ処ハナト云ハカ親ヲ往來スル

婕妤怨

皇甫冉

花枝出建章鳳管發昭陽 班姬ガイル西宮カラ建章宮アタリヲミレバ春ノ時分チ花ガサ  
カリニヒライテアルガテマハイル処カラミル今ニ趙飛燕ガイル昭陽

借問承恩者雙蛾幾許長 アノヤウニ帝ノ御意ニ  
入ルト云ハトフモタゾ

御アソビニ出御ナサレタウチト思ヒ慕ナリ  
化粧ナドモスルデアラフガイカヤウニシテ御寵愛ニ  
逢フゾトテハ恨ヲ直テ云カルク云テ面白イ

題竹林寺

朱放

歲月人間促烟霞此地多 歲月ト云モノハセウレイモナク暫クモトゴラスソレツケテ人間ノ壽  
命ニ促ルナレバ朝タモシレヌヨツテ重テ此処ニクルフモ不定ナレバ

殷勤竹林寺更得幾回過 殷勤ニシテ入テミラクガ  
ヨニ再ビルフモ計リガタイ

秋日

耿湜

返照入閭巷憂來誰共語 二十五家ヲ閭トイフ巷ハ其里ノ道ナリ○田舎ノコナレハ父ガケモナク  
家居ノ兩方ハワカレタアイタカラ日ガサレハ此ノヤウチサビシイ

古道少人行秋風動禾黍 ソノラフアルイテ其町ハ古道ガアレハ  
誰レ往來スルモノモナクイ子ノホナドヲ秋

時分モ在郷イナレバ吾ガ  
愁ヲ誰ト共ニ語ル者モナク  
風ガ吹動カスノミテ  
サビシイゾダヤ

和張僕射塞下曲

盧綸

月黑雁飛高單于遠遁逃 スイツモ月夜サレハ吾ガ入りユガ今夜ハ月モサズ黒フシテ  
雪モフリ雁ノ声ハキコユレハ形ハミズ今夜ハ此方カラ逐ト云沙

欲將輕騎逐大雪滿弓刀 輕騎  
ハ弓ノカサ

武者テ追カケヨフトスレハ大雪  
ニ寒氣ガツヨフトフモナラヌ

別盧秦卿

司空曙

知有前期在難分此夜中 別レテハ又逢フヲモ知レヌヨツテ今夜ハユルリト酒デモシダガヨイ  
ト云ハイヤク今夜ハ尺子バナラヌ別レキリデハナイ追付逢フゾダヤ

ト云ニツイテ子タリ心作テ送ル面白イ○ソナタノ云ル通り。全別レキリデモナイ。追付  
逢フノ期アルヲ知テイレドトシタラヤラテコリ惜テ。別レタキ。先ツ酒テモナシ  
及石尤風ユリト酒ヲノミテ。逗留セヨトイハ。ギカズニ行カルガ。石尤風ガ吹テハ。アトモサキモ。ユカレヌカナシト  
シヤルト留テモソレニ前期ガアルト云ラフリ切テカスレバ。酒ヲ石尤風ニ及バズトスルモナシヤ  
ト留ルデアアル○石尤風ト云ハ。逆風ヲ  
スチシイ風ナヤ。故事ノアルコトナヤ 無將故人酒不

幽州 御用デ。幽州ニ來テ居  
テ。故郷ヲ思テ作ル

李益

征戍在桑乾 年年薊水寒 此處成リ來リ。年々テ歸ラフト思タケルトシモ。ケル  
トシモ。此處ノ寒氣ヲクシテ。都歸ルコトナラヌ 殷勤驛西  
路此去向長安 長安カラツキノ馭西ノ路ヲ望ミテ。アノ路ヲ一足フミ出セハ  
都ユカルコトナヤト。殷勤ニケリカエシテ。ミテイルノミナヤ

三閭廟

戴叔倫

沅湘流不盡 屈子怨何深 昔屈原ガ。楚國ノ王ヲ諫メ。用イラヌヲ憤リ。此處身ヲナゲタ  
ト云ガ。其人ハ。ナキ世ノ人トナリ。タシ。世ヨニカワラヌモノ。水ノ流テ。ツキヌミ  
ガヤ。今ニ其怨ヲミルヤウナカドフ 日暮秋風起 蕭蕭楓樹林 日クレカタニ見レハ。秋風ニ来ノ葉チ  
ミテ。アノウニ。千歳後。追怨深イトツ 日暮秋風起 蕭蕭楓樹林 日クレカタニ見レハ。秋風ニ来ノ葉チ  
ウスデ。此無心ナモノ。アテモ。皆テ。屈原ガ。 怨ミヲ。合テイルヤウデアアル

思君恩 怨ヲ云

令狐楚

小苑鶯歌歇 長門蝶舞多 小苑ノ。詠トイヒ。小苑ノ。春ノ。始。鶯ガ。多ク。ナイ。ア。イ。タ。ガ。半。ス  
ト。タ。レ。ハ。鶯。モ。ナ。キ。歇。テ。長。門。宮。ア。タ。リ。ニ。蝶。ガ。飛。ヒ。遊。フ。春。未。チ。ツ。タ  
眼看春又去 翠輦不曾過 再。再。吾。ヲ。愛。シ。テ。御。幸。モ。ア。ラ。フ。カ。ト。思。タ。ニ。此。春。モ。帝。ノ。入。御。モ  
ナクイタツラニ春ノ  
スギユクヲミルニナヤ

登柳州蛾山 故郷ノ遠キヲ  
ミテ感ヲ起ス

柳宗元

荒山秋日午 獨上意悠悠 荒ト云ハ。人ガ。ケ。モ。ナイ。ス。ゴイ。山。ヲ。云。○。秋。ハ。ダ。サ。ハ。ガ。ヒ。シ。イ。ニ。人。ガ。ケ。モ。ナイ。  
荒山ニ。秋。日。ノ。午。誰。レ。ト。フ。モ。ナ。ク。ヒ。ト。リ。悠。悠。ト。ハ。テ。モ。ナ。ク。多。ク。タ  
フヲ 如何望鄉處 西北是融州 宗元ガ。高。キ。ニ。登。リ。故。郷。ノ。河。東。ノ。方。ヲ。ミ。ヤ。ト。思。タ。ニ。  
思出ス 如何望鄉處 西北是融州 故郷ハ見ズ。西北ノ融州ノミ。ニ。ミ。タ。故郷ハルカチナヤ

秋風引 引ハ曲  
ト同シ

劉禹錫

何處秋風至 蕭蕭送雁羣 何處カ。早ヤ。秋。ニ。ナ。リ。ド。コ。カ。ラ。秋。カ。至。ル。コ。ト。ナ。ラ。  
蕭々ニ雁ナドモ吹キ送ラシテ。皆テ南カエル 朝來入庭樹 孤  
客最先聞 常サ。愁。カ。アル。朝。カラ。秋。風。ガ。樹。ヲ。フ。キ。ウ。コ。カ。ス。ヲ。キ。イ。テ。ハ。此。方。ノ。ヤ。チ。  
孤客ノツレモナク。ヒトリ。旅ニイルモノハ。カチニ。思。ノ。ハ。カ。リ。ナ。ヤ

鞏路感懷

呂溫

馬嘶白日暮 劍鳴秋氣來 旅路ヲ。毎。日。朝。カラ。アル。イ。テ。ハ。暮。方。ニ。寒。フ。ナ。リ。馬。ナ。ド。モ。ツ。カ。シ  
ノ。其。チ。秋。ハ。モ。カ。ル。時。分。ニ。腰。ニ。サ。シ。テ。イ。ル。劍。ナ。ド。モ。カ。ラ。ク。ス。ル。ニ。ツイ

テ早ヤ秋ニ我心渺無際河上空徘徊日モクシカツタガ向レホドアルヤラドコカドコヒサキノ辨モ成タト思

欲別牽郎衣郎今到何處解ノ旅ニクニツイテ夜ヲイテ子タドコユカル 不恨歸來遲莫フゾ定タテユカ子ハナラヌフテアラフナレドモ

古別離大方夫婦別ノコト云 朋友ニ別ルヲモ云

孟郊

向臨叩去行クサキハ日ノ定タモノナレ帰リノ遅イハミナレ馬相如カ臨叩テ卓文君ニ通シタト云ガ

松下問童子言師採藥去カゲニ遊テイルニ師ハドコト問タレハ葉ヲトリニシラク行カヌ

尋隱者不遇

賈島

只在此山中雲深不知處賈島自ラ思ニ隱者ナレ世間ハ出ヌハツチヤカラフ此山中ニ

宮中題

文宗皇帝

輦路生秋艸上林花滿枝輦路ハ御幸ノ道也上林天子ノ苑ナリノ帝ノ御心カヒテハ春ノ時

憑高何限意無復侍臣知高ニ憑テミナニヤカヤ思イカアル

又侍臣ハ咄サレヌヒトリ愁テイルノミナヒイツカ吾カ

マニ天下ヲ自由ニスルテアラフゾ憤リテツクル

勸酒

于武陵

勸君金屈卮滿酌不須辭金屈卮ハモツテノアル盃ナリノ親シイ友達ニ逢テ此方カラハイ花

發多風雨入生足別離ヒナハ花盛リチヤホド見ヤクト思フニ風雨テモスハ浴テヒフ人生モ

秋日湖上

許瑩

落日五湖遊烟波處處愁クエ五湖ホトリヲアラトアルケハ 浮沈千古事誰與問東

流此湖上ハ世ヲカレテ居タモノモアリ 謫居シタ者モアリテ浮沈極リナイガ誰モ吾ト

題慈恩塔

荊叔

漢國山河在秦陵草樹深此高キ塔ニ上リシハヤツシ漢ノ世ノ山河ガアリテ古ニカラヌ秦ノ方ニ

暮雲千里色無處不傷心行里ニテモ暮雲ノ夕ナヒイテ凡ク色昔トガ

伊州歌

無名氏

塞上ノ曲ト同シテ元

閨怨云云アリ

五

聞道黃花戍頻年不解兵吾が夫ハ黄花戍アリニ戍卒ニ行テイル來年モクルトモ不解兵合戦ニ身ヲヤシテイテ世ノサウキカ止ヌケナ 可憐閨

裏月偏照漢家營可憐閨裏ヲテラス月ガヤリ漢家ノ營ヲテラスアアラフガ月共同ノ月ナレバ吾ガ思ヲ寄スルヲモナラス互ニ相思バカリデ逢フヲモナラヌ

其二

打起黃鶯兒莫教枝上啼打起ハ俗語ノライタアルヲ〇兒ハ字ナリ〇黃鶯ト云テハ朝ヒ鳴モ子ヤ夜ガアケレハ庭ノ木ニテワルイホドニヤツニ打起ニ追ハラフテドソナカセトナ

啼時驚妾夢不得到遼西ナセナレバセテ曉ノ夢ニテリヒ夫ノイラル。遼西アタリノ行テ逢フト思テ子テイルニ鶯ガナケバ夢ガサメルユニユクヲモナラヌ

哥舒歌

哥舒翰ハ邊塞ノ功ヲ立テ邊塞ノ人ヲ

西鄙人

北斗七星高哥舒夜帶刀北斗七星高ソラノサエワタツタヲ云夜ヲケ頭ラク上ニ北斗ノル時分胡ハカリユニ哥舒ハモスノ者ヲウチヘラヌヤウニ夜トイヒ帶刀用心シテ乙セガレタ

至今窺牧馬不敢過臨洮牧馬ト云ハユスルカ馬ヲ牧ト云ヒテ唐ガカイノヤノコナレバ哥舒ヲ恐レテ至テ馬ヲ牧スルヲメツクニ臨洮ヲサト通ラヌ

答人

外ノ者ガイクニナルト問フニ答ル也〇大上ト上モ

太上隱者

偶來松樹下高枕石頭眠ラレハ用ガアルデモク偶ト來テ此ノ處ニ賦テイルハ年月ノ移リ替ルモ知ラヌ 山中無曆日寒盡不知年今コニ來テ五ニ年ハイクツテハト問ハルカラシガ住居スル山ニ曆ト云モガナイユニ年月ノタツモシラヌ寒ツキテアタハカテレハ春ニ成タソウナト思ハカリテ吾ガ齡ハイクツニナルヤラ自分モ知ラヌ

七言絕句

七言絕句ハ上カラツト作ルユ一句中ニ字ヲ入テ見ルクライニ作ラ子ハナラヌ

蜀中九日

都ヨリ蜀來テ九月九日ニアイテ旅ノアヒラ述フ

王勃

九月九日望鄉臺他席他鄉送客杯九月ニ高い處ニ登ルモノヲヤト云ヨリ吾モ人ニサソシ蜀ノ望鄉臺ニ登テミルニ故郷ナラハ面白カラフカ他席

人情已厭南中苦鴻雁那從北地來ラレハ都ヨリ南方蜀ノカクテハアリ殊ニ今日ハ此ノ處ニ別ル人モ有ユヘイヨク悲イ

莫道三鴻雁ハドフシタラデ北地ヨリ來ルトソト鳥ニトヨセテ云フ情態ガクツロイデ面白イ

渡湘江

南國ハ左遷ノ時湘江ヲ通ルツイテツクル

杜審言

遲日園林悲昔遊今春花鳥作邊愁都テ昔遊ナリノ去年都テタラシシダ時ハ面白カリガ南國ハ左遷セラレテ此旅ノ遲日園林ノ

花鳥風色ヲミルツイテ都ニイルナラハ此風景ヲミテハサソ面白カラフニ旅ノコトニ此風景ヲ

人南竄不似湘江水北流吾ハ京國北都ノ者ナルニ南方ハ左遷セラレテユクハ湘江ノ水ハ北流スルニモ不似水ノマ子モナラヌウラヤヤシイフヂヤ

贈蘇館書記

大將ノ書記役ニ行ナリ

知君書記本翩翩為許從戎赴朔邊誰及ブ者モナケレハ今度書記役ニイテクニイカ

誰及ブ者モナケレハ今度書記役ニイテクニイカ

トタノミナルホト犬將ノ為ニ許戎軍ニ從テ

紅粉樓中應計日燕支山下莫經年

御内室カ日フ計テ待タルデアラフ必ス燕支山アタリニ逗留スルハ御無用デアアルカノ番手モ目ノ限リノアルヲヂヤホドニ早クカエラレヨ必ス滞留スルナト云フナレバテラガ云テハキハスニヨツテソコテ内義ヲ出シテ云テ面白ク又早クカエラレイト云ガチサウニナルフヂヤ

戲贈趙使君美人

此詩聞ニクイ詩チヤ○趙使君ト杜審言ト友デアリシラフ戲ト云ハドケニ趙使君ノ美人ハ送ルユヘ實テハブレツケチヤニヨツテタワフレニ贈タ使君カニテモ大事ナイヤウニ云テホメテヤレハ使君モヨロコゾヂヤ○使君ノカノ美人ハ紅粉青娥映楚雲桃花馬上石榴裙 天氣ノヨイ時分ニリツバナチ

向東方去謾學他家作使君 羅敷ノ曲ハ趙王ノ故事ナリ羅敷ノ曲ノ中ニ東方ト云ルガ今日ハヒトリユカニ○謾ニ自ラテナイ他家ト趙使君トナリテラトモ申サフ○趙王ガ羅敷ニ子カヘサレタ

ルガ今日ハヒトリユカニ○謾ニ自ラテナイ他家ト趙使君トナリテラトモ申サフ○趙王ガ羅敷ニ子カヘサレタ

トウニテアリカケテミヤウト云息ヲフククテ云○今美分東行タガ○他家トハ我が身ヲナリ趙王ノ子ヲ

シテ美人ニタワフレテミヤウ○使君ハ美人ノ且那趙氏ニモカハルコナクニカソツテアノアリ戲ニミヤウト云ニモナル

銅雀臺

劉廷琦

銅臺宮觀委灰塵魏主園陵漳水濱

銅雀臺ハ千歳モタルユニ灰ホリトナリチミ

ト云言イモノガウツモレテシラフ云○魏主ノ園陵ノ

人ヲ今園陵ノアル処ヲ西望シテサテハ英雄トイハタスノアトモコノヤウニナルモノカト思フニ堪テ目モアテ

カナシカ

邺山

沈佺期

北邺山上列墳塋萬古千秋對洛城

邺山ハ八ヶ埋タ所○墳ト云ハ土ヲ高クシタラ云○塋ト

今ラ埋タ墓所カ多クアル千古ノ古ヨリ

洛陽城ニ邺山ガ對シテ都チカイ処ニアル

送司馬道士遊天台

宋之問

道士ト云ハ仙道ヲ學ブモノヲ云天子カラ召サレテ

又天台ノ歸ル時仰付ラシ官人ハ皆詩ヲ作テ送ル

飛羽客ノウチハヤシナド云ハ中々人間テハキクナラヌカ此人ノ笙歌ニキクデアル今コノ処ヲ違イ



ヤウスチヤ余リ。蓬萊闕下長相憶桐柏山頭去不歸。  
今相別レテ桐柏山(モ)ドラ  
レタナラハモラ此処(歸ル)ハ  
アルイコレヨリコナタニ逢フハナルイカラ蓬萊闕下禁中デ長クコナタ  
ヲ相憶デアアラフ○蓬萊闕ハ天子ノ宮殿ノ桐柏天台ノ別名ナリ

送梁六

張說

洞庭湖ノ中ニアル山ニ引込テイル人トミル○何六何バト云  
兄弟ニテモ從弟ニテモ族ノ中ニテ年ノ長シタルヲトスナリ  
巴陵一望洞庭秋日見孤峰水  
上浮巴陵郡ノ方カラ洞庭湖ヲ見レバクモリナク一面ニ秋ノ風景スミワタツテミル○毎日孤峰ノ  
ハナレ島ガタツタツ洞庭ノ水ノ上ニ浮ニテアルガミルガコナタハアノ孤峯ヲハルカニ目アテニキ跡  
ヲカクシテ仙道修行セラル仙人ニ成テ人間ニ交ラ  
スモノヂヤゲナモフ追付逢フイモナルミト思ヘハ  
聞道神仙不可接心隨湖水共悠悠  
見ヌ処ナレバダシモチヤガ目々見ユル処ナレハコナタノコイシク思ヒ吾ガ  
心湖水ノ渺々タル如クテモカキリモノナク思ヒクラスデアアラフ

涼州詞

邊塞ノ國

王翰

葡萄酒美酒夜光杯欲飲琵琶馬上催  
葡萄酒ノ美酒ハ涼州テ出來ル酒琵琶ヲ馬  
上ニ彈スルモ涼州アタリテスルコトニ其処ニアル  
ヲ云テ此ノ処(番手)ニイテ氣象ナラ作ル○葡萄酒カモシタ酒ヲ夜光ノ醉テ沙場君莫笑  
孟引ウケテ飲ムト思テ有ニ馬上テ琵琶ナドヲ彈シヌイフシムヲヂヤ西臥沙場君莫笑  
古來征戰幾人回  
ハ古カラコノ処(征伐)ニ來テ無事テ歸タモノハスクナシ大方討死シタリ

病死シタリスル吾モアソノ命モシレヌ酒デモシテタノヒカヨイト酒ニムテタヤウニ  
云ヒナレ所詮此ノ身ハステ切タト云情ガアルモウ是非ガナイト云意ナヤ

清平調詞三首

李白

清平調ハ玄宗ノ牡丹ヲ植テ一ツタノシタラハヨカラウトテ清平ノ音樂ヲナカル時分トテモノノ頌  
雅ヲ付タラヨカラフト有テ作タ音樂ノ頌雅チヤ○此ノ詩ハ可解不可解ト云ヤウデキコニクイ貴妃ヲ  
名花ニ比シテ云ヒ美人ノコラ云中ニハ花ヲ含シテ云フ房中奧キノ  
樂ノ名テ即席ニ李白ニ仰付ラレテ出來タ詩ヂト  
雲想衣裳花想容春風  
拂檻露華濃  
雲ヲ衣裳ニスルハ仙女ナリ○此ハ玄宗ノマダ美人ヲエヌウチノコラ云雲ヲミテモ花ヲ  
ミテモコノヤウナ美人ヲエタイト思ヒクラレ○コラフテ春風ガ檻ヲ吹キ拂ライ

天下ノ名花ノ花盛リノ露ノ濃ナルヲ  
若非羣玉山頭見會向瑤臺月下逢  
若シハ羣玉山ノ頭ニ見會ハシテ瑤臺ノ月下ニ逢フ  
見テコノウナ美人ヲエタイト思ヒクラシ  
中々人間界ニハアルイ羣玉山ノホトリ王母カ方テ見ルニ  
アラズハ瑤臺ノ仙女アル処テ逢フカ會外ハミルコトナリ

二

一枝濃艷露凝香雲雨巫山枉斷腸  
牡丹ノタツタ一枝ノ色ヲノウルワレニ露ナトガ疑  
リ浮シデアアルコレテ貴妃カ年サカリノコラモタセ  
夕チヤウド此ノ花ノ如ク美人モ花モ比類ナクウルワレイコチヤ貴妃ヲエタカラミレハ巫山ノ神女ヲ慕フ  
夕ト云モムダコトチヤ楚ノ襄王カ夢タニ巫山ノ神女カ雲トナリ雨ナリテコヨフト云タラ慕フタハ枉テ  
斷腸ニ慕フタト  
借問漢宮誰得似可憐飛燕倚新粧  
貴妃カヤウヲ美人ハ當代ニハナイ  
云モノナヤ  
漢宮ニハ美人ガ多カツタト云

ガ借問ス問テミタイモチヤ其漢宮ハ誰ガ似タゾ可憐カワイイラレイト云フ可憐ハ趙飛燕ナド云ヤウナ者  
ガケワイイテモシテ來タナラハ少シハ似ヤウカ中々素面テ來タ分ハ及ヒモナイ倚ト云ハ思ヒタノムケワイイヲ  
頼ニスル意飛燕ハ  
漢ノ成帝ノ帝

其三

名花傾國兩相歡常得君王帶笑看

花モ貴妃カヤウチモノニ詠ムラレ貴妃モ花ヲミ  
テ兩相歡フ名花トハ牡丹ノク牡丹花帝

御覽ナサレル処ノ名花ナリ貴妃モ御寵愛ノ美人兩ツナカラ御氣ニ  
入りチヤイツモ君王ノ此ノ花ヲ見テ笑ヒラオヒ愛セラルエカウニ相歡ニテ

解釋春風無限恨沈

香亭北倚闌于

花ノ心ニモカヤウニ咲乱レテイナモ春モクレユカバツイニ春風ニ吹チラサルデアラ  
フト云アヤフミガアリガノナラヒトノ常ニ春風ナドノ吹ニ逢テハ吾ガ容色モ

衰ハ寵愛モスタラフカト思フ限リナキ恨カアルガ此美人貴妃共其様ナ恨モナク釋テラ解シ合  
点ノ心ニ愁ヘモナク花ヲ見タリシテ君ト共ニ沈香亭ノ北ノ闌于ニ倚テ何シノ恨モナク牡丹ヲ愛イラレ

客中行

古題テモナク只旅ノ客中ノ  
コト云シテ行ノ字ヲクケタモノト

蘭陵美酒鬱金香玉碗盛來琥珀光

蘭陵モヨイ酒ノ出ル処鬱金香ト云香州ヲ非  
黍ヲ醱ソツタ酒ナレバコトハ香自イノヨイ

ニカ用テ手前ハ旅ノ客テイルニ吐ノ亭主ニ於テハサニテコト云ホトモナク此酒ヲクツツウナ  
玉碗ニ盛リミテモテナサルト云ハ黍イ香イノヨイ美酒ヲ玉碗ニ盛ラノメ琥珀ノ光ノカク透キ通フ

但使主人能醉客不知何處是他鄉

主人カツツイル亭主コノ客中ニ酒ヲフルウテ  
トサリニ面白フテテテ故郷ヲヤヤラ他郷ヲヤ

ヤラ知ラズテグサテイルト云下々心ハ悲シカアル但酒ヲノ中ハ暫ク  
故郷ノコトヲ忘レテイル所醒ムル思ヒ出ル悲シカ生スルデアル

峨眉山月歌

高イ山月ガ半分掛タラ見テ作タ  
李白旅行ノ詩ガ名人テ有タ面白

峨眉山月半輪秋影入平羌江水流

舟ナリ此山ノ下ヲ通り見レ八月ガ半分山ヲツ  
レ半分テラス其月影ガ江水ニリ流ル此時分ニ

夜發清溪向三峽思君不見下渝州

漢タイ舟ナリ出シテ三峽アタリ(乘リ)ノモツ  
暗ク夕見ヘヌトフ渝州アタリ行キタラ八月ガ

八見ユテアラフト思テ随分ノリテアアル極角ノ  
早イヲ云川上ヨリ川下ヨリ下々サヤ君ト八月ノコト云

上皇西巡南京歌二首

玄宗ノ祿山ガ亂ラ避テ西蜀ヘテツタラ巡狩御幸ノコト  
云テス故ニ即チ南京ト云四首アル内ヲ二首出シタ御歸

リナサレタ後ニ作タ詩ナリ帝ノ都ヲ  
落チサセラレタト云ス西巡ト云フ

誰道君王行路難六龍西幸萬人歡

君ノ御幸ハアルイト云此ノヤウナコトハ誰カイフタ天子ノ出御アルハ何シノ昔モナク路ノ險難ニテイ證據ニ  
天子六龍ニシテ御幸ナサレテ蜀ノ方帝ノ御幸アルト云六龍ヲ仰キ民モ歡ノコトヤ天子カラモ賜ノア

ルニ三方人ハ歡トイワイナシテ天子五路駕馬故曰六龍  
舊註易時乘六龍以御天故以喻天子六轉

地轉錦江成渭水天迴玉壘作長

安ト帝ノ御幸ナサレハ長安ニモ劣ラヌコトヤ蜀ノ錦江ヲ轉シ長安ノ渭水ニ同前ニ思フコトヤ長安ハ  
山ガ四方ニトリミワレテアルガ蜀モ天ノ高ナリ玉壘山カオシハシテアル故ニ直ニ長安ヲヤカヤウニ

不足ナク外ニ天子モ  
御幸ナサレタコトヤ

劍閣重關蜀北門上皇歸馬若雲屯御歸リナサレタラシク云劍閣蜀ノ出口門也

少帝長安開紫極雙懸日月照乾坤今都ニライテ

皇帝紫極ノ即位ヲササレテ都御歸リナサレタラシク日月ヲ並カケタカクテアラフ徳行ヲ懋テ喜ト深愛ヲ云ナス

聞王昌齡左遷龍標尉遙有此寄李白遠クケキイテセメテクフ下

揚花落盡子規啼聞道龍標過五溪第一句別レノ時ノ景ヲ云〇揚花モ落テ春モツ

我寄愁心與明月隨風直到夜郎西吾共ニ

分ニ唯サハ物悲シイラリカラニチタハ五溪ヲ過テ龍標アタリテ方ルゲナ

離別モシヤウケレ遙ニ隔テイルナレハ逢フコトヲス其フキイテ愁テイル此ノ愁ヲ誰ニタクニテコトタニ告ケ知ラスル者モナイ明月ハトモカモテラスナレバコレモトツテテトケルホト二月ヲミルコトニ我が愁ヲ思ヒヤツテクレラレイ

黃鶴樓送孟浩然之廣陵

故人西辭黃鶴樓烟花三月下揚州吾カ親シイ子タト此ノ黃鶴樓ノ烟花ノ風景

孤帆遠影碧空盡惟見長江天際流ヲ見望メ外ニ何ニモス

唯其元ノ乘リ行ク舟ノ見ユルカニイルウチ空ヲ青イトツ成テ

又惟見ルモノハ長江ノ天ト成テ流ルノ手モ外ニ何ニ見テ深イ情ガ

陪族叔刑部侍郎曄及中書舍人賈至遊洞庭湖族叔父方ノ

相伴人ナリ〇洞庭共々舟ヲノリ山シテ作ル賈至舍人カ詩ニ洞庭西望楚江分水盡南

天不見雲洞庭湖ハ西ノ方楚江ガノ流レ南ノ方ハ

日暮長沙秋色遠不知何處

望天門山

天門中斷楚江開碧水東流至北迴天門山ハ東ニ博望山西ニ梁山ト云カ並ニ其中

兩岸青山相對出孤帆一片日邊來楚江ト云川ガ流ル碧水ノ川面ヲ見望メ

シテ東ノ方流シ又北ノ方廻リ流ル

ヒトリ舟ニリ夕日影此ノ處來ルヲ受テ自遣ト云都ノ都ヨリノ道ガキト云テナイ李白都ヨリ此ノ處へ主テ舟テリ天門山ヲ見望ムナリ初テ此ノ處來タ情ヲ云日邊ヲ平トテ都カラ直ニ來

タト云テハナイ外ノ舟ハ又我が舟バカリヂヤト云意テ一序ト云此ヤウナキテハ悲イフヤ

早發白帝城

朝辭白帝彩雲間千里江陵一日還  
早朝ヨリ白帝城ノ雲間ヲクリテ千里モアルト云カ舟ガ早イニタツタ一日ニ來タ  
兩岫猿聲啼不住輕舟已過萬重山  
兩方ノ岸テ猿カククヲ聞ナカラ下ル処アモナイチサキクテ啼不住トコラドコモ啼ツイテヤス旅ノ愁ヲ引起カト思テフリカツテミル早ヤ萬重ノ山ヲリテ卒々アモ早イコトガト

秋下荆門

荆門ハ荆州ニアリ山カ岸ノ際ニ元六合下ト云ク荆門ト云

霜落荆門江樹空布帆無恙掛秋風

荆門ノ山林ナトモ秋ニ霜落レテ木ノ葉モ落チハハラ成タニ江樹空〇晋ノ顧愷之カ云々通リ

心ヨク吳中ノ方ニ恙ナク無事ニテナリユク秋風ニ帆ヲカケテユクギヤ

此行不為鱸魚膾自愛名山入剡中  
秋風ノ吹テユクハ張翰カ如ク鱸魚ノ膾ヲ思ヒ出シテ官ヲヤメテ行クダナイモトヨリ兵中カ故郷テモナイカラ其為テハナイガ吳中ハ山ノ多イ処ニソレヲ見シタメニユクコトガヤ

蘇臺覽古

舊苑荒臺楊柳新菱歌清唱不勝春

ハ吳王ノ古跡ヲヤト云定テ古ハ宮殿ナトモ美麗デアリソラフカ今ハ跡カタモナイ春

菱歌スリテモ揚柳新古ハ宮殿ヲ建ナラテ入ラセ入ラシテ今ハ野原トナリ唯菱ヲトル野夫ガ歌ヲ唱テ往來スルトモモ春ヤヤ昔トナリハテタノ不勝春トモモ春ヤヤト云フ 八今

唯有西江月曾照吳王宮裏人

只今惟アルトテ八月ノ月ニテ吳王ノ宮殿ハ跡形モナイ吳王宮裏ノ照ラセタ久ク唯其宮ノ跡ヲ見タ月ノ光

越中懷古

越王勾踐破吳歸義士還家盡錦衣宮女如花滿春殿

先ツ絶句ノ詩ニ越王ノ轉合ト云三句ヲ轉

不レ此詩ハ三句ニテ下ツキテ一言イヤ〇越王ガサカニナリテ吳王ヲホロボシタカ其時分功ヲナシテ褒美ヲモロウタテソレカラ越王モ偃リテ極メ官女ノトモ大分アリ花ノ如ク美入カ春殿ニ

チテ盛ニチテ 只今惟有鷓鴣飛  
今ハ野原トナリ鷓鴣ノ飛ノミナリテアリソラフカ

與史郎中欽聽黃鶴樓上吹笛

是モ都カラ來テイテ洛梅花ノ曲ヲ吹テキイテ故郷ヲ思ヒ出シテ云フ

為遷客去長沙西望長安不見家

都ニシリソケラレ長沙ニ來テ居ル長安ノ方ニ遠イ吾ガ故郷長安ノ方ヲ見望メ凡吾ガ家ハミ

又我モ其元モ諸君ニ左遷ノ客トナリ此ノ 黃雀樓中吹玉笛江城五月落梅花  
又我モ其元モ諸君ニ左遷ノ客トナリ此ノ

チウク邊塞ニ來テ居ルチウクト思ハク悲イ 春夜洛城聞笛  
川ノ九処ニ江城ト云愁テイルニコナタリテ玉笛ヲフカ限ミ吹ツツテ落梅花ノ曲ヲ吹ス恩ヨリ又五月時分ニ落梅ノ曲ヲキケル都ヲ思ヒ出シテコイシイ落梅ハ離別ノ曲ナリ

春夜洛城聞笛

誰家玉笛暗飛聲散入春風滿洛城

誰ガ吹ソ誰ト云フモシレヌカ暗春風ニノキチラチレテ都中トモカモ此聲全ニメト云処ハアルイ

此夜曲中聞折柳何人不起故園情

何フ吹ソト思フ別離ノ折柳ノ曲ヲ吹ク旅テル者誰テモ悲シカラフ我モ旅ニイルニ愁ラキキテス

春宮曲

王昌齡

新參女中ノ新タニ寵愛ヲウケテイル外カラ見テイル意ヲ作タシテモヨシ  
宮女ノ怨ヲ云ヒ帝ノ遊興クヲ云ヘ恨ムルヲ云ヒキクモ勝手次第ナキ

昨夜風開露井

桃未央前殿月輪高

露井トハ屋根ノ下ノ井戸ノコトヲ云フハ開カサズタガ昨夜アタリ風モ暖ミテ御庭ノ桃花モヒラキ帝モ再化見ニ出御有テ未央殿ノ前テ御遊興ナク月ノ高ク上ルハ夜クライフナリ

平陽歌舞新承寵

平陽公主漢ノ武帝ノ女也武帝

帝ノツレテ歸テ衛皇后ト云ヒシレタヤウナ美人ヲ寵愛ナサレテ御殿ノ諸尼ニ遊バルト云ヒ當世ヲアテルノ簾外外ノ宮女ニミイル射ヲ云夜フケニ成タニ寒ク成タ此ノ新參女中ニ帝ノ御氣カカレテ寒カラフトテ結構ナ錦袍ヲ下サレタコト甚タ寵愛ノスケル  
夕云外ノ女中カ新參女中ノ愛セラルヲ見テイル情言外アリ

西宮春怨

西宮ハ班婕妤カイル長信宮ナリ宮怨ニ春ノ景色ヲ如タシニ春怨ト云首樂府題ナリ

西宮夜靜百花香欲捲珠簾春恨長

西宮ニ班婕妤ガセトリ夜モ靜ニシテイルニ花モ盛リニ香ニ此ノ花ヲ見ヤウイ思テ珠簾ヲ捲ントス凡氣ムツカシク春ノ景色ヲ

斜抱雲和深見月朦朧樹色隱昭陽

斜抱云和深見月ト奥ノ方カラ簾ニ月ヲミテイテリ何トゾ愁ヲ散キウト思テ斜ト云ミカラ琴ヲキク深見月ト奥ノ方カラ簾ニ月ヲミテイテル地トハダキカヘタルハナリ頭ヲサゲテ見テイル意○朧々ハスキミテイルヲ云朧々トホカニ

ワクラフ一サツリトハミヌカ樹色ノ間カラ昭陽宮カ奥深クニユル昭陽宮ハ趙飛燕カ寵ヲ得テ毎夜々々帝ノ御遊興ナリル処ナヤラハ其ヤウナ座敷帝ノ御座所ニイテ寵ヲ得ルヲモナラヌ月モバツキリトハミヌカ宮殿ノ高ク見ユルノミナヤ

西宮秋怨

芙蓉不及美人粧水殿風來珠翠香

ケイヒタ処ハ芙蓉ノ花モ及ハヌヤウナ美人ナヤコレモ美人カ自ラ云フ云フナドボツデミルハワル

イヌウツサノ詞ナヤ芙蓉天下ノ名花トイハ此ノ班婕妤ニ似モツカ又蓮池ノ上ニ作タ殿ニ水殿ト云其水殿ノ邊蓮華カ生シテイルカ美人カ水殿ノ座敷ニ出テ居テ見ハ風カ吹來テ蓮葉ニ露ニタ露モ手如ク香ハ

却恨合情掩秋扇空懸明月待君王

芙蓉モ及ハザル美人カ君ノ寵愛ニタタルユガノナハ辞テハ云ハス

情ヲ含シテイルガコノヤウニ秋扇ヲ掩ヒカタツクヤウニ寵愛ノスタレテアルカ手前ノ心明月ヲカクヤウナクモリナク如在ニモウト去氣モナイユモモコノヤウナ明月ノ夜トトハヒヨットコリラウモ知シ又大カクガリハモイガムタナリ待テイル班婕妤カ統扇ノ歌ノ如ク掩イカクシテ取テラウ意ナリ此ヤウナ美人ヲステラカルハ殘念ナヤガラシムタ珠翠香ニイ時分ソララシムタ月ナダガアル各月ハ長門ノ賦ノ意ハ吾ガ心ニモリナリトゾムナイハナイト云意ナリ

長信秋詞

眞成薄命久尋思夢見君王覺後疑

眞成ハホホシト云フ薄命ハ不仕合ナリ班婕カ心ニ寵愛ノスタレタ我ハ薄命ト思ハタホ

ホニ寵愛ノスタレタヤラドフシタデ君ニステラレタヤラシメト久シク尋思シ思ヒキワスラレ又向藩命ヲ思ヒ極ムレ何ノ恨モナクトモ尋思シタラシムラク夢ノ中ニタカク君ニ御目ヲ見リ寵愛ニ逢タト思タニサメテニタレハウシテ有タソクチ是レハ火照西宮知夜飲分明複道奉恩時サメテ夢テ有タク夢テチカツタカト疑フナリ

青樓曲

少年行ハ羽林ナトハ殿中ガアソビニユク処チヤ

白馬金鞍從武皇旌旗十萬宿長楊女宗ノ色ヲ好ム漢ノ武帝此レテ武皇ト云○武王ノウラキナ者凡ガ白馬ニ乘テ帝ノ

御遊興ニ御供ラシテハナヤカナフチヤ御幸ノ時分ニ旌ヲ

建章

此ノ時分樓頭ノ少婦遊女凡ガ箏ナドヲチラシテ坐ソ居ナカラ遙ニ向ラ吾ガ念頃ニスル少手凡ガ塵ヲ飛ゴ通リ建章ニスル目テニツイルト云ヒステ置クテ面白此ノ少手

凡モヲ見テイルアラフト思テリソチチナリヲシテキ凡モヲ方ヘクルモシレト思テチチウイヒタル情ヲ云フ

閨怨

閨中少婦不知愁春日凝粧上翠樓親ノキヲチレテカラダツイ夫上別レタフ手ケレシモ愁ト云フヲシラスシテ春ノ景色ヲ

ミヤウト思ヒカタチツクワラテ手前ノイル翠樓ニ上テ見レハ

忽見陌頭楊柳色悔教夫婿覓封侯ノ色ヲミテ春ノ

スキユクヲ感シテ夫ガフヲ思ヒ出メサテク残念ナラ夫ト別ル時分ニ六軍中ニユクガ手柄ヲスレバ大名ニナルフチヤト云ハレタユヘヤツタガ今思ハ残念ガヤクヤレイフヲシタトアヂキナク云テ面白イ

出塞行

白草原頭望京師黃河水流無盡時吾ノ地草モ青カラズ白キユ白草原ト云故郷ノ京ヲシタイ望メ凡都ハ三ノ遠イ処キタ

フカチ都ハイツクホトゾト思テ見望メ凡都ハ見ズ只ミルモイトハ秋天曠野行人絶馬首東

來知是誰

塞外ノイナレ秋天曠濶タル野原テ人影モナイ処チヤ馬ニ乗テ東カラ來ルハ誰テアラフナレモソノ人影モナイ処テヒソト人ヲミタユ甚タ驚タ射チヤ

從軍行三首

從軍ニ塞上ノ曲ニシテ見テモヨイ同レ樂府題チヤ此ヲ公塞上ノ曲ニシテ見テモヨイ同レ樂府題チヤ

烽火城西百尺樓黃昏獨坐海風秋烽火公遠見ノ番ノ相圖ナリ胡ニシヌヤウニ小城ヲキツキソレラ烽火城ト云テ用心ニスル烽火

更吹羌笛關山月烽火公遠見ノ番ノ相圖ナリ胡ニシヌヤウニ

無那金閨萬里愁

吹カキユル殊關山月ノ曲ヲフクニ我ハハハ子凡故郷ヲ思フ情カ

生レテドクモナラヌ金閨ト云ハ妻子凡ノフヲ含ムナリ

青海長雲暗雪山孤城遙望玉門關

此ノ樓ニ上リシレハ只渺々トシテ吾方來テイルハ夷ノ地青海ノ北ナレハ雲ガ長クタチヒイテ

雪山ニテモツクロモノ物スクニユル王関ハ都カラミレハ西北ノスミテ遠イ処チヤソコヲ通リテ

黃沙

百戰穿金甲不破樓蘭終不還

沙漠デタビク合戦カアルユヨロイラスクモナクコノヤウニテイテハイツ故郷カエラフゾ大方樓蘭ヲ破

リレハズカエラヌデアラフスイツト云限リマナク大方レヌルデアラス破ラ子ハカエルトデハナイト氣象ニミルハヨクナイ

秦時明月漢時關萬里長征人未還

今ニ始ラス秦ノ時分ニ來タト云カ近イ路デアモナイ萬里長征レ〇長城ト云テ築テ責タ

ガアル其時モ合戦ニ來タモノガ此ノ明月ヲ見テ故郷ノヲ思ヒカナレシ漢ノ時モ萬里ノ關山ヲ經テ來テ苦戦レ秦漢ヨリコノカタ多ク歸タモノハナイ但使龍城飛

將在不教胡馬度陰山フアナドツテカフミタリヂヤ但夷ノ恐ル飛將軍ノヤウナ衆中

カアラハ胡人が唐ウチイルコハアレ  
トイヨイ大將イハ是非イコトヂヤ

梁苑

梁ノ孝王ノ修竹園ト云テ長イ竹ヲ植テ愛セラレタ

梁園秋竹古時烟城外風悲欲暮天

梁苑ノ竹ハ古時孝王ノ如ク相替ラズ茂テアルバカリテ古時ノ景色ノ通りヂヤ

孝王ノ時ハ結構ナドデアリツラフガ城外ヲミレハクヒカタ  
秋ノ物スゴイ風ナドカ吹テアレハテモノ悲イ体チヤ

萬乘旌旗何處在平臺

賓客有誰憐

孝王ノ盛ナ時ハ天子同前テ有タユニ方事天子ノ子ヲナサレテサツタカ今ハ迹方モナイ其時分ニハ相如鄒陽如キハ文人才子ヲ迎ヘ愛セラレタト云カ

孝王ノ去ラレテ後コレヲ賢者ヲ誰憐レム者モナイ今ノ世ニ  
孝王ノ如キ人アラハ吾モ相如ナドノ如ク用ヒラレヤウニトナリ

芙蓉樓送辛漸

寒雨連江夜入吳平明送客楚山孤

我今左遷ノ身チ雨フリノ寒イジラニ雨ニタタレナガラ川バタ通リラ夜レ楚國ヨリ吳國ニ

ユル此ノ処ヲ子タタ出逢テ芙蓉樓ニ上リ夜アケ方ノアリフシ客ヲ送テミレハ楚國ノ方ニ  
一ツ離レタ山カアルユヘイヨク思フソユルヲ甚シイ楚山孤トハミル処ノ景ヲイフ

洛陽

親友如相問一片冰心在玉壺

モレアノ方洛陽ニキツイテ友達凡カ無事ヂヤカウシテイルゾト問タラハ片氷心トハ世ノ中ニ望ハ絶ヘ

キツタラ云チヨツトシタ心ノイキチガカリヲサレテクレレ音都ニイタ時ハ功名富貴ヲ願フ所存ハ  
ミシレタカ今ハ吾カ一片ノ心カ玉壺ノ氷ノ如クサツハリトシテ世ヲステ功名富貴ヲ願フ所存ハ  
ナイカラモフ都ヘユク氣ハナク  
ナツタト云テクフレイ

送薛大赴安陸

木ト云ハ兄弟行ノ第一ナリ安陸郡モ今別ル処カラ遠イ所トハミヘヌ

津頭雲雨暗湘山遷客離憂楚地顏

全子タラ送ルワタレバテミレバアリフレ  
風雨ノ時分三湘山ナドモ雲雨ニトダラ

レテ三又〇楚地ノ顔ト云ハ楚辞ニ顔色憔悴ト云文字ガアルユハ顔色ノトクタラフ云離憂ト  
云モ楚辞ノ文ヲ楚辞デハ憂ニカハルト云フニナカゴトヤリ別離ノ憂ヲ云〇我レ左遷ノ身ナ  
レハ此楚國ノ地ニ顔色憔悴ノ境デ  
送レハ五分身ニテ別レテモノカナレイ 遙送扁舟安陸郡天邊何處穆陵關

舟ニテ  
安

陸ユカラ送ルチヤアリナゴリ惜サニ迹影ヲミレハ雨カ暗フレ安陸郡ヨリ穆陵關ハ高イ  
処ニイッモ此処ヨリ天邊ニヒテ三九カ今自セメテノ下望ミテナタニカハ安陸郡カ雨ヤ雲テ  
三又ユハ別レテ  
ナゴリ惜イ

送別魏三三六兄  
弟行

醉別江樓橘柚香江風引雨入船涼

今子タノ長沙ノ方ニカレルユニ酒宴ヲ催  
此ノ江樓デ醉テ別ル頃レモ秋ニ橘柚

ナドモ熟メ香ハレテ示ヒソエタレ時分子タノ此処ヨリノリユク舟ノ上ヲ江風カ吹テ雨ヲ引入テ涼  
イユテハ涼ト云ハ少シ寒ヲ覺ルチヤアラフ物体此ノサキノコヲ思ヒヤツテ云カ甚タアワレモ情カアル  
憶君遙在湘山月愁聽清猿夢裏長 ユクサキノ客愁ヲ思ヒキリ〇此カハ湘  
山アタリユカレタナラハ月ヲミテサ人哀レニ

盧溪別人

思フモノチヤニ清猿ノスミワツタ猿ノ長クチタ夢ノヨスカラ  
キカレタナラハ夜モ子ラレス愁ヲイラフルテアラフイタウエイコトヤ

武陵溪口駐扁舟溪水隨君向北流

武陵溪カラ舟ノリカハカアリナゴリ  
ヲレイニ舟ヲトメテ溪水ヲ見レハウラヤ

ミレイ水ハ子タニツイテ北ニ流ルカヲレハ水  
ニモ及ヌ從ヒユクノカナラヌ殘念チヤ 行到荆門上三峽莫將孤月對猿愁

行クサキノコヲ云荆門ノアタリユキ三峽ナド上タナラハ猿ノ澤山ナド処チヤカ月ニ月ヲ三耳ニ猿ヲ  
キカレタナラガゾ悲シカラフソウナイヤウニレヤ月夜サレノ時分六別レテ猿モ啼モノチヤキカレタ  
ナラバ旅ノ愁ヲソノテサヒカラフホトニカニテ孤月ヲモツテ猿聲ニ  
對メキクヤウナコヲセラルナトユクサキノ悲ミヲ思ヒヤツテ云フ

重別李評事

十日ホド前三旅立ラスルト云フ云テ別レテ旅へ出テ行ク時  
分ニ饒別ノフルニイラモレテユクユニ度ニ度モ別レルナリコレヲ

重別 莫道秋江離別難舟船明日是長安

前方カラ別レテ出シテ此頃ニテハ  
秋江ノ風波ヲ見合セテ滯留シテ

イルヨツテ急モ別レハセイト云タユニソレヲ頼ニシテイタカモフ明月ハ  
別レ子バナラヌ莫道ナゼナハ明月ハ舟テリ長安ノ都早々カセラル 吳姬緩舞留君醉

隨意青楓白露寒

今夜セメテイユルリトナゴリキヤト思テナクサニハ妓女ニ舞ナ  
ドラサセテ酒ヲスムルツモリノチヤホトニユルリト留リ酒ニ醉テタノ

レシテクレラレヨ此ノ離別スル川端ノ青楓ノ木陰ノ酒モリユハ夜フケニハ寒ク  
ナレハ内ニ入ルコトナレド今夜ハソレモ隨意ニ思ヒナゴリヲラレシ酒盛ラスルチヤ

少年行

王維

出身仕漢羽林郎初隨驃騎戰漁陽

出身ト云ハ各自文字ナリ〇親ナドノ討  
死シタ子トハ羽林郎ニテ召出シ武藝



ナドヲタレナニスルノチヤ。我モ少年ノ頃ヨリ。羽林郎ノ武官ニ召出サレテ。朝廷ニ  
仕テイタ。初驃騎將軍ナド。云ヤウナ。大將ニ隨テ。下軍ニ來タテアル。孰知不向邊

庭苦縱死猶聞俠骨香ラコガ氣象ナラフチヤ。ワキカラ人ガ見タナラハ。漁陽アタリ  
デ。サソ精カラツタレ合戦レツラフト思ラウカ。ラレハ命ヲステ

戰ハセヌ。アノクライノ命ヲステ。胡ノ地ニ死シタ。公テハ。犬死ト云モ。チヤ。タトヒ死ス。氏。  
都テ我一人トイル。程ニ切ラ立テ。死後ニ骨身ニテモ。香ハ。イ各ノ立ッホ。デナレハ。面自クイ

九月九日憶山中兄弟

獨在異鄉爲異客。每逢佳節倍思親。他國ニ居テ。作タ詩ナリ。王維ガ十七歳ノ  
時ノ作也。親兄弟。居ルニ吾獨リ。

他國ノ異客トナリ。旅ズニイラスルノチヤ。只サ心細イニ佳節ニアハ。遙知兄弟登高處。遍

插茱萸少一人。九月ハ定テ相共ニ酒ナドヲノ。テイルテアラフガ。吾一人兄弟ノ中。デカケテ  
イルユ。サゾドフレイルヤ。ラト思テクレルテアラフト云。ア。コノ方カライマ。

向ノヲ思フガ。キユルノ親ト云ハ。親兄弟一家中ノヲ云

與盧員外象過崔處士興宗林亭

綠樹重陰蓋四隣。青苔日厚自無塵。崔處士官ニツカズ山ヤレキナドノヤウナ  
ニトチモツテイル。綠樹ガイクエモレゲリ

テ四方ノ隣モアラフガ。綠樹カ掩テアルユ。見ヘヌモノ。ミツカナチヤ。庭ノ青苔。艾草ナド  
モ。人ノ往來ナク。キサウモ。モ。自ラ塵モナク。氣高イ人ユ。メツタチ人ニハツキアヌ。科頭

箕踞長松下。白眼看他世上人。科頭ハ散ラレ髪ヲ云。甚タフレツケナリ。此ノ  
ニイル人ハ風流ナ人テ。世ニ求モナク。冠モキズチ

ラレ髪テ。長松ノモトニ。足ヲナケ出シテイル。箕踞。足ヲフミ伸バレテイル。意中ニナシモカハ  
又モヤウヲ形容ス。世間ノモノ。人モ氣入タモ。ガナケレハ。白眼ヲテイルユ。誰ニ往來スル者モナイ

送韋評事

欲逐將軍取右賢。沙場走馬向居延。今度子タハ邊塞ノ大將ノ迹ヲ逐テ  
右賢ノ夷ノ大將ヲトリヨミレヤウト思テ

イサミシテ。居延ノ方ヘ向イラモムカレ。遙知漢使蕭關外。愁見孤城落日邊。ナニヤウスモヒラヌ  
ニ。氣象ニレテユカ

ルガ。遙ニ蕭關アタリヘ。キテ。孤城ノ暮方ニ。モノサビヒク。故郷ノヲヒラ。思ヒ  
出サレタナラハ。哀レニ愁テイルル。デアラフ。中々初メ勇シタヤウニハアルマイ

送沈子福之江南

揚柳渡頭行客稀。罌師盪槩向臨圻。本海道モアラフガ。今ヒ子タヲ送ル  
渡リハ本海道テハナイユ。行客ノ往來

モスクナイ。罌師ハ漁人ナリ。臨圻ハ川岸ノ出ヅレナリ。漁人ガ舟ヲ  
コイテ。江水ヲ渡ステアラフ。ガゴリヲイユ。迹影ヲ見望メハ。唯有相思似春色。江

南江北送君歸。サテ江南ハ春ノ最中テ。春色ノナイ処チイ。吾カ相思ノ情ハ。ロテ云テモレ  
レナイ。ト。モカ。春色ノケルヲミテ。吾カ情ノ限リナイヲ思ヒヤツテクレラレ

イ。心ハサキヘ身ハモドルユ。送君歸ト云ナリ

春思二首

都三居テ  
作ルナリ

賈至

艸色青青柳色黃  
桃花歷亂李花香

春ノサカリノ体ヲ云。艸ノ色モ青ク。柳モ黄バンテ。芽サス時分。桃花モ咲ミタ

レテ。春ノサカリナレハ何ノ

春風不爲吹秋心去  
春日偏能惹恨長

レコノヤウニ花モ  
春チヤト快ク

サキ。人モ春ト思テ。面白クナクサミ。春風ノ吹カヌフモナイ。カ。ナ。セ。吾カ愁ヲ吹キチラ  
レテハクレス。春日ノ長イニツイテ。朝カラ晩ニテ。ヒトニ愁ガトリツイテハナレヌ

二

此ノ詩。カ。ナ。セ。春思ニナルナレハ。世上ハコノヤウニ。春ノ面白イアリサナレハ。吾ハ  
愁ガアルユ。コノ景色モ。ラモレロクナイト云テ。春思ニナルナリ

紅粉當壚弱柳垂金花  
臘酒解醪醪

紅粉ノ美女ガ酒ノウリバ。壚ニ當テ。柳ナドガ青々トタレレケツテアル寒ツク

リノ酒ノ上ニ金花ノウカフヤウチヤユ。金花ハヨイ酒ノウラ云。醪醪ノヤウナ。名高イ酒ト解レ合点  
レテアルチヤウト山吹ノ花ノ如クチヤト。合点レタフニモキコユル酒ヲトキテノスルニモナル

笙歌日暮能留客  
醉殺長安輕薄兒

妓ナドカ有ニ笙歌舞ナドヲレテ。其上ニ  
日カ暮レハ大勢トリ込テ。酒モリラスル

ユ。輕薄ノ兒ハ九常住住此処テ遊テ。酒ニイタワ  
ムレテ。乘リワレハ。我ハ面白イニユ。タノレムフモナイ

西亭春望

日長風煖柳青青  
北雁歸飛入窅冥

春ノ暖ナ時分ニ。柳モ青々ト。メサレテ。雁モ  
北ハカエル正月ノコロヨリ。歸リノメチ。春中ハ

飛。フ。カ。春モ末ニ感タレハ。雁モ飛ツキテ。ハテモナイ。窅冥ニ入り。故郷ニ  
音信モナラヌト。行クサキモ三。ヌフヲ云テ。都ノウラ。暮イ思テイル

春心滿洞庭

心ハレイ。フリ。吹笛ヲキケハ。愁ヲヒキコシ。春ノ感スル心ヲレテ。滿洞庭ト。コモカ  
ナツタ

モ愁ニ  
ナツタ

初至巴陵與李十二白同泛洞庭湖

楓岸紛紛落葉多  
洞庭秋水晚來波

南國ノ巴陵アタリ。左遷セラレテ來リ  
○楓岸紛紛々。皆楚辭ノ字ナリ。○秋ノ

時分ニ。岸ノ楓ナドモ。紛々ト散乱シ。木ノ葉モ落テ。サ。ヒレク。成々。川ノ面ヲミレハ。秋風カ吹クニ。波。乘  
モタチ。何トナフ。屈原カ。コモモツテアル。○左遷ノ身ナレハ。兩人ハ。心ヲ得ズ。屈原ト。同。境界。ヤ

興輕舟無近遠  
白雲明月弔湘娥

舟ナリ。遠近ノ差別モナク。リ。ワレテ。コ。ヤ。ウ  
ニ。ア。レ。モ。ナ。ク。居。タ。ラ。ハ。白。雲。ハ。レ。タ。明。月。ノ。夜。ス

ガ。ラ。ハ。湘。君。ノ。廟。ヲ。モ。ト  
ム。ライ。ソ。ウ。ナ。モ。ノ。チ。ヤ

送李侍郎赴常州

雪晴雲散北風寒  
楚水吳山道路難

冬ト見テ。降タ雪ガ晴レ。雲モハレ。雪後ノ  
○北風カ吹テ寒ク。モノス。コイ。時分。常州ニカ

ル。其路ハ。平地モナク。道路難ノ。今日送君。須盡醉明朝相憶路漫漫。今日酒ヲ  
至極行キニクイ。路スガラテアル

十分飲了醉ヲツクサレヨトセナレ明日別ル身ナレモフイツ逢フ  
ヤフレス路漫々ト遠イ処ユカルナレハ相逢フモ計リカタイ

岳陽樓重宴別王八員外貶長沙

江路東連千里湖青雲北望紫微遙

岳陽樓ハ西北ノ方長沙ハ洞庭ノ南ノ水ノ  
ノハテユ岳陽樓ノアル処ヨリハ南チヤ  
洞庭湖ノ北ノ方ハ江水ガツキ流ルガ岳陽樓ヨリミレ洞庭ノ江水ガキタリ東ノ方ツラナリ  
キテ渺々ト千里ニ湖ガミチテアル此ノ処フ舟ニ乘リユカルガフリフ青雲ノソラヲ仰テ北地  
ノ都ノ方ヲ望メハ都ノソラニアル紫微垣ノ星ナドカ遠クミテドコニ知レス共々ニ都カラ遠イ処キテ  
イルモソナタモ天子ノ側ニイル身ナレハ追退ケラレテ天子ノ御坐ナサレハ紫微宮ナドモミヘ又ト云  
フテ天ノ紫微ト莫道巴陵湖水濶長沙南畔更蕭條  
空洞ト何チイ西方カラ  
兩方ヘモチアハス  
北ニテサワリハナイ員  
外ガ云々ニシテ岳陽カラ長沙ニダナメナイ湖水ツキチヤカラ朝ニ舟ニノリ晚方ニ歸ルト云ハ  
カ都ヲナレテ岳陽アタリへ行テサハ蕭條トモノサヒイ此ヨリ東ノ長沙南畔ノアタリへ行タラハ  
イヨク都ハ遠クナリ心細カラフ濶ト云ハ  
廣イコトナク問ニミナイヲ云フナリ

封大夫破播仙凱歌二首

岑參

播仙ハ西域ノエヒスナリ漢將承恩西破戎捷書先奏未央宮

物大將ニ仰付ラ  
凱歌ハ千柄ヲシテ歸ル  
レ恩ヲウケテ  
御目ガ子ノ通り何ノ苦ミナク討亡ヒテ來タ捷書ハエヒスラ討亡ヒテ參々ト云早追ノ捷狀ナリ  
首尾ヨク討テ參々ト云狀ヲ皆ノ歸ラヌサキニ天子ヘ奏聞スルコトヲ捷狀ナドノ來タ時分ハ

帝宅未央宮ヲ天子預開麟閣待秘今誰數貳師功  
御覽ルイナヤ  
天子預開麟閣待秘今誰數貳師功  
懷美ヲ下サルデアラフ天  
モ封大夫ノ歸ラヌサキカラ麟閣ヲ開テ待ツ此度ノ封大夫ノ手柄ヲ云  
ハ貳師將軍廣利ノ功ハ莫大トハイ厄中々數ル足ラヌス勝々手柄ナヤ

二

日落轅門鼓角鳴千羣面縛出蕃城

轅門ハ陣屋ノ門ナリ日暮時分ハ凱  
陣カ鼓ヲ打テ歸ル夷ノ方ハ降參  
ノ着ナドモ手前テ繩ヲタリ  
洗兵魚海雲迎陣秣馬龍堆月照營  
今日日出度  
蕃城ヨリ引出サレテイル  
兵ヲ洗フ瑞雨ト見ヘ久軍カ收タレハ何ノ氣ツカイモナク月營ヲ照

苜蓿烽寄家人

家人ハ妻ナリ

苜蓿烽邊逢立春胡蘆河上淚沾巾

邊塞ノ道中テ春ノ景色ニテリ早ヤ春  
成タカト感ヲ起シテ去年ノ立春ハ妻  
子ト一處ニ居タガト思テ故郷ノ  
闈中只是空相憶不見沙場愁殺人  
闈中テ  
一フ思ヒ悲シハ涙ノ乾ク間キイ  
我ヲ思テ愁ルデアラフガムタコチヤ此方ガ今ニ此旅ノ沙場ノ愁ト云モノハ  
夕エカタイ此ノ沙場ノヤウスヲ見ヌヘ何ト思フイガミタラ尚々カナシカラフ

玉關寄長安李主簿

東去長安萬里餘故人那惜一行書

東方長安ヲ去リ萬餘里ノモトス境ノ玉門ヲ來テ居ルコトヲタドガセテテモコ

玉關西望腸堪斷況復明朝是歲除

五門ノ方カラサキハコボウアル

シテクレソウチモノヂヤド  
フシテ一筆ヲコレテクレマツ  
ヤラ知レヌガ此ノ処ヘ行カ子バナラヌト思ハ腸カ断ルヤウナ此ノ悲ヲ思ヒヤツテクル  
ラレト其悲ミサハアル旅中テ歲除ニ逢ヒ年ヲ越ルナバイヨク悲ミラ生スル

逢入京使

京へ歸ルヲ見テ羨ク思テ作ル

故園東望路漫漫雙袖龍鐘淚不乾

我此ノ邊塞へ來テイハ故郷ノ路漫漫ト遠イナシヤ此ノ旅ノ道ヲ都ノ

馬上相逢無紙筆憑君傳語報平安

龍鐘下ニキセテ使ノ者ヲウラヤマシラ思ヒ馬上テ今此ノ処テコトヲ逢ヒ故郷ハ狀ヲ頼フト思テモ馬上ナレハ紙筆ハナレ只コトヲ逢ヒ傳言スル程ニ隨分息災テイルト云テクレラレ

磧中作

至極通リニクイ処テ西ユクホト上地ガ高イ

走馬西來欲到天辭家見月兩回圓

御用ニ隨分トイソテ馬ヲ走ラシメテ上レハ次第ニ高クテ天ヘモ上ルヤウナ家ヲ辭シテ

今夜不知何處宿平沙萬里絕人烟

ドウラ下テラヤ

此ノ道中へ出ラカラ十五日ヲ二度歴タユニ夕月ニナル

夕平沙ノ人ノ家モミヘズドコヲタノムキ所モナイ大方  
コノ沙上ニ宿スルデアラフ心ボソイナシヤ

魏州後亭送李判官使赴晉絳得秋字

魏州ノ城後アル亭ノ

西原驛路掛城頭客散江亭雨未休

西原ノ城ヨリ上ニ山カケテ海道ガアルユレト云○江亭ニテ送テ來タ客モ皆歸

君去試看汾水上白雲猶似漢時秋

リカビレクナリニシテ雨モヤマズウツカヒ  
レイ時節道中ヒラルサソカナシカラフ  
其道ニ分分水ノタリニ漢ノ武帝ノ古跡カアル君去試看漢ノ時ノ人ハアトカタモアルマイ白雲バカリハ漢ノ時ノアアラフ樓船ヲ浮フト云ヤウナハアルニ此ノヤウナラフミラレタナラバ古ヲ感シテ猶悲シカラフ

送人還京

匹馬西來天外歸揚鞭只共鳥爭飛

我ハ西ユクニ西ノ高ナ方ヨリ東ヘ向テ左ルニ天外ヨリ歸ルト云都ヘ歸ルニ馬ヲ

送君九月交河北雪裏題詩淚滿衣

其元ハ歸

夕キ立テ鳥ノ如ク早ク急イデ  
カエラルウラヤシイナシヤ  
ウレシカラフガ我ハ歸ルニモナラヌ此交河ノ北ニ居テ今此処テコトヲ送リシレハ與ニ一時分テ早ヤ  
雪ガアル此ノ雪ヲミナカラ詩ヲ作り送ルニツイテモ我ハコノヤウナ寒イ処ヘキテイルガコトハ歸ル  
ルガ五只イツ歸ルヤラ又イツ逢  
ヤラレヌト思ハ悲チリ淚滿衣

赴北庭度隴思家

隴山ヲ越ルニツ  
イテ故郷ヲ思フ

西向輪臺萬里餘也知鄉信日應疎我此處行夕西方輪臺ノ方ヲ

テ便リガナイニイヨク也知鄉信ガ次第ニ隴山鸚鵡能言語為報家人數寄書隴山ノ鸚鵡能言語為報家人數寄書

遠サカリタリヲナクイモナルイ隴山鸚鵡能言語為報家人數寄書隴山ノ鸚鵡能言語為報家人數寄書

隴山ノ鸚鵡能言語為報家人數寄書飛テクルヨ隴山ノ鸚鵡能言語為報家人數寄書

酒泉太守席上醉後作

酒泉太守能劍舞高堂置酒夜擊鼓軍中ノ酒モリニナヌルクテハスヌト

テ能ク舞ヲスル再ニトリ出何心ナクタノレムコトヤコトハ氣象ニアリノ舞ノハテアケケハ胡笳一曲斷人

腸坐客相着淚如雨胡笳ノ聲ガスル此ヲ聞ケハ愁ヲ引起シテ初ハ氣象ニアリ

ガ其坐中ノ者ガ顔ト顔ト見合テ故郷ノヲ思ヒ出泣淚ヲテイル泣淚ヲテイル

送劉判官赴磧西

火山五月行人少看君馬去疾如鳥西域ノ火山ヲ五月時分通リニハ旅人ガ

人ト通ラヌサビビイハヤ今コト々ハ向ノ都使行營太白西角聲一動胡天曉行營ノ陳屋

ヤウスヲ知ラヌニ只獨リ氣象三馬ヲ飛セテ方ガ行營ノ陳屋

太白山ノ西ヲ胡へ近イハナレハ胡天ノ曉方ニドコトモナク角ヲ吹上タラハ悲レカラフ初ハ馬ヲ飛ビタヤウニハルイ

山房春事

梁園日暮亂飛鴉極目蕭條三兩家古ハ繁昌ナリテ有ツラフガ今ハ人ニ往來

モナク梁園ノ跡モ目ノ暮カタニハ鳥ガ庭樹不知人去盡春

來還發舊時花此處ニ何ノ心モナクアル木ハ古ノ庭ノ木ナレ其庭ヲ愛シタ人モ過去テ誰

見ルハモナイ妻ハタルカナト云テ實ハ我モ秋乘鄒陽モ方ラヌ器量見ルハモナイ妻ハタルカナト云テ實ハ我モ秋乘鄒陽モ方ラヌ器量

寄孫山人

儲光羲

新林二月孤舟還水滿清江花滿山新林ハ地名ノ春ノ氣色面白カラフト思テ

故郷ノ新林ノ浦邊ニ三月時分舟ニ棹サレ借問故園隱君子

時時來往往人間尋問タレハ思ノ外ニカ行テイラレヌ隱君子ナレ父間ニ交リ

ソウモナイモチヤガ人間ニ住居レテイラレカカテシユカヌフデコソアレ

贈花卿

花卿ハ御カヘノ大將ト見ユレハ、妓女ノクニ見テモイ

杜甫

錦城絲管日紛紛半入江風半入雲

蜀ノ都也此頃ノ絲管ハ半ハ江風ナドニ隨ヒ半ハ雲ニ入テ天ニモヒキワタル

此曲祗應天上有人間能得幾回聞

此ノ曲ト云ヒタイ民間テ聞クフハナラズ曲チヤ此ノヤウチ音ノ妙チ九曲天上ノ玄宗如キ

天子ノ御聞ナサル曲ナレハ人間世テハナラズ常ニ聞クフナラズ此ノ曲ヲキクト云ハ花卿ノコノ処ニコサレハソノ聞クフデアル

重贈鄭鍊

官ヲヤメテユクナリ

鄭子將行罷使臣囊無一物獻尊親

此ハ公故郷ヘ行テレテ使官ヲヤメテ子ルガケツコウチ人ユノ民ヲ貧ラス一錢ノ

タクワヘナク故郷ノ親屬ニ

江山路遠羈離日裘馬誰為感激人

コレカラ故郷ヘ歸ル路モ遠ク

江山ヲ經テユクフヂヤ表馬ハ富貴ノ人ニ富貴ナ人モ大分アルガ此ノ人ノ貧窮テ潔白ナラ感激シ憐ニテヤル者モナイハ是非モナク羈離ニ赴テ途邑

秦和嚴武軍城早秋

子美モ嚴武カ手下ユ邊塞ノ守リニ行テイルナリ

秋風嫋嫋動高旌玉帳分弓射虜營

嫋々ハ風ノ動カス良ノ西域ニ行ク度度ヲスルヲ云○秋ノフナレハ風カ嫋々ト吹キ陣

屋ニ高ク立テアル旌ヲナヒカス征伐ノ時分ナレハ大將ノ帳幕ニ天勢來テイルハ已收滿博雲

間戍欲奪蓬婆雪外城

早ヤ戰ヒ勝テ滿博ノ地ヲ嚴武カ方テ収メタレハ其地ノ雲間ノ高イ処ニ戍樓ヲ建テ番手ノモヲ置ク遠見ノ番

處モイラスヤウニナリ収ハトリヲサメテト云フ終ニ其勝ニ乘シテ蓬婆城アタリモ皆奪取テ幕下ニ隨ントセラレヨイ勇士チヤ雲間雪外ト云ハ高イノノ聲デアル

解悶

愁ノアルヲ解散スル也

一辭故國十經秋每見秋瓜憶故丘

故郷ヲ出テヨリ年久ク旅客トナリテ十年ニモナル秋ノフナレハ子美カ在所ハ瓜ノ名物ニ

旅テ瓜ヲミテモ今時分吾ガ里ニモヨイ瓜カアラフカト故郷ヲ思ヒ出ス

今日南湖采薇蕨何人為覓鄭瓜州

今日南湖アタリヘ來テ居

テハ故郷ヲ見ナレタ瓜ハナクシテハヤ春ニナリテ蕨ヲトル時ナレハトニ故郷ヲ思ヒ出スセメテフニ鄭瓜州ト云朋友ニナリト逢テナグサマフト思ヘト逢フモノヲ又誰カ我が為ニ尋テツレテ來テ逢セテクシヤウソ誰レモツレテクルモノハアルニ鄭瓜州ト云ハ出來ロテ故郷ノヤウナ瓜ヲモ持テ來テクシタラハ吾ガ愁モ解ヤウト也

書堂飲既夜復邀李尚書下馬月下賦

湖月林風相與清殘尊下馬復同傾

書堂ノ湖上月モ清ク風色モヨシ此湖ナホトリヘ來テ見レハ林ヲ吹ク風モ清ラカニ

殘念サニ飲アミシタ酒ヲ馬ヨリ下リテ復打ヨツテ傾ケノム

久拚野鶴如雙鬢遮

莫隣雞下五更

久拚ト云ハ只ステルト云フハナイ世ノ中ノハカマワスモフ世間ノ者ガシラフガカワヌ夜ガアケテモカマワヌハ吾ガ如ク酒ヲノメハ乱リト云テ用イヌガ

ソレモ苦シカラヌ野雀ノ如ク吾分頭モシラガトナリテタレハ何ト去ハセウトマニ世間ニカマラヌ氣ニ成テ  
ト遮莫トミヨサテ隣ノ一番雞ニ番雞五更ノ夜アケニナラフ尾ノミアカサ子バナラヌ時世ヲ  
イキドヲ  
リテイフ

塞下曲二首

常建

玉帛朝回望帝鄉鳥孫歸去不稱王夷國玉が帝郷ヲ望ミ仰テ來リ中國ニ歸服シ玉帛ヲ以テ朝參スル胡モ今テ

天涯靜處無征戰兵氣銷爲日月光天ノハツレテ  
靜ニ治テド  
八王号ヲ各乘テイタレレ鳥孫モ  
中國ニ從ヒリクダツテ王ト稱セス  
天涯靜處無征戰ノヤウナフハナイ軍ガアレハ天ニ兵氣カタナヒクガソレモ銷ト盡テ  
日月モ明ニ輝テ清平ノ世ト成タ昔コウレタガ有タヨイ天子ノ在ス時ノコト云

二

北海陰風動地來明君祠上望龍堆明君祠ハ王昭君ガ墓所ナリ○夷ノ北海  
カラスサマニ陰風ガ地ヲ動搖レテ吹來ル

龍堆ハ沙場ヲ龍ノ形ノヤウナニ昔ヨリ  
都カラ  
觸骸盡是長城卒日暮沙場飛作灰昔ヨリ  
都カラ

此處キテ討死シタ士卒片ノ死骸ヲ誰レ片付ル者モナケレハ白骨バカリチヤガ暮合ニ見ハ  
チリホコリト成テ風ニ吹飛フ番手ニキテイル我々モ如此テ有フト感ニ堪ヘラレヌ

送宇文六

花映垂揚漢水清微風林裏一枝輕春ノコトニ花モリカリニ揚モ青ヤイテ漢  
水ニ映レウツラフテ清ラカニユル此時今

林ヲ吹ク風モハゲシカラズヨク吹クコトタノユ  
カル江南  
即今江北還如此愁殺江南離別情コトタノユ  
カル江南

ノ方ハ春モ早イ処ニ行着カル時分ニ春モ過ルテアラフ江南ノ景モ見  
ラタナラハ離別ノ情ヲ感シ江北ノ風景ヲ思ヒヤツテ愁ラルデアアラフ

三日尋李九莊

雨歇揚林東渡頭永和三日盪輕舟好ニテ雨ガフリシガ今朝ハ揚林ノ東渡  
ノホトリニテ晴レワタツテユル今日ハ幸イ

故人家在桃花岸直到門前溪コトタノユ  
カル江南

水流故人ノ家ハドゾト思フ向ノ桃花ノ咲ツタ岸ニアルカ此漢水ニ舟ヲウカヘ  
テユケハ直ニ門前ニ至リ着テ風景ヲミル物靜デ武陵ノ桃源キタヤウヂヤ

九曲詞

高適

鐵馬橫行鐵嶺頭西看邏逤取封侯我モ何ラガナ功ヲ立ヤウト思テ鐵馬  
手ゾヨイ馬ニ乘リ鐵嶺頭アタリテ

青海只今將飲馬黃河青海アタリヘ行テ馬ニ水カハフトレテモ胡ノ者ガカハヌ大平ノ御世ナレハ黃  
河アタリヘ秋ヲ防テ中國ヘ胡ガ入ラ子ハズルヲモナイズレバ功ヲ立ルモノナラヌ

不用更防秋青海アタリヘ行テ馬ニ水カハフトレテモ胡ノ者ガカハヌ大平ノ御世ナレハ黃  
河アタリヘ秋ヲ防テ中國ヘ胡ガ入ラ子ハズルヲモナイズレバ功ヲ立ルモノナラヌ

殘念テアル○防秋ト云ハ胡ガ中國ヘ入コム  
時節ユ一開所ヲタテ防クイナリ

除夜作

旅館寒燈獨不眠客心何事轉凄然  
寒燈ハ細イ燈ヲ云今夜ハ除夜ナレ故郷テ  
ハ夜中灯ヲ多ク灯レテ樂メ凡旅ノ除夜ナ

千里霜髮明朝又一年  
今夜ハ除夜トテ人ハ皆ニキヤカニ樂メ凡吾ハ此ヤウニ千里  
ノヲ思ヒ出シテ悲ム今夜ガ明ケタナラハ又一年明朝ノ年ヲ

塞上聞吹笛  
重子テアタモ段々霜髮ニナリ旅ニカリイテ故郷  
ハイツカエゾト思ハイヨク凄然トモノワイフヤ

雪淨胡天牧馬還月明羌笛戍樓間  
雪モチラフト空ニ映シテ見ル時分野飼ニ  
レテ置タ馬ヲヒキツレテ歸リタレ誰カハ

借問梅花何處落風吹一夜滿關  
山ニ借問シウケタスハリタイモヤ今ハ落梅ノナイ時分ヤニ何ノ処ゾトコハ落テアノ曲ヲ吹クツン  
山ニ風ニ吹チラサレテ夜モスガ關山ノ中ニ滿テ誰レ聞カヌ者ハナイ此ノ曲ヲ聞テハ此処ハ征伐ニ來テ  
イル者ハ故郷ノ思ヒヲ引起シテ  
悲シカラフ皆チ春ノ氣色チヤ

十里黃雲白日曛北風吹雁雪紛紛  
暮ナレ北風ナドモ吹來テ雁ヲモ南ニ吹送リタテ  
雪絲々ト降テ物スゴイ時節其元ハ旅ヘユカル  
莫愁前路無知己天下誰人不  
識君  
アルイト氣ノ毒ニ思ヒ召ス其元ハ器量スグタ人ナレハ行クサキテ重シ君ヲ待テ  
テ有フ程ニ愁ズニ氣  
象ニシテユカレイ

別董大  
鼻ノサキニ見渡ス処ヲ十里ト云○此アタリヲ  
見渡セハ空モウス曇テ雪ヲ催ス白日ノ夕

送杜十四之江南  
楚ト吳ト相接シ交テドコカラドコニモ皆ナ水  
ノ上ヲスミカトスルヤウナ処チヤ○君去リ行カ  
レタナラハ見ララルデ有フ春ニナレバ水モミレ水ハモ不知  
ドコカラドコニモ流タト限リナクバテレモナイフヂヤ

荆吳相接水為鄉君去春江正淼茫  
楚ト吳ト相接シ交テドコカラドコニモ皆ナ水  
ノ上ヲスミカトスルヤウナ処チヤ○君去リ行カ  
レタナラハ見ララルデ有フ春ニナレバ水モミレ水ハモ不知  
ドコカラドコニモ流タト限リナクバテレモナイフヂヤ

日暮孤舟何處泊天涯一望  
此処ハ舟ヲ出シテ今夜ハドコヲ使リシ舟ヲ泊スルデ有フト天涯  
トテモ見望テ使リモノク唯漸々トシテ腸ヲ多ク思ヒ愁ラム有フ

寄韓鵬  
李頎

為政心閒物自閒朝看飛鳥暮飛還  
河中ニ奉行ヲシテ居ラルガ政ラスルニイソ  
ガハレカラズ何モカニラス無為ニシテ治メラ

為政心閒物自閒朝看飛鳥暮飛還

為政心閒物自閒朝看飛鳥暮飛還

為政心閒物自閒朝看飛鳥暮飛還

為政心閒物自閒朝看飛鳥暮飛還

為政心閒物自閒朝看飛鳥暮飛還

為政心閒物自閒朝看飛鳥暮飛還

為政心閒物自閒朝看飛鳥暮飛還

為政心閒物自閒朝看飛鳥暮飛還



萬物モ從容自適シテ開ニシテアル一日何ラスルコトモナケレハ朝々  
飛行ク鳥ガ暮方ニ子クヲ尋テ飛歸ルヲ慰ニシテイラル、寄書河上神明宰  
羨爾城頭姑射山 我ハ此ノヤウナ人ヲ愛スル故ニ今手前カ書ヲ寄ヌル河上ニ奉行ラツ  
其元ノ再ル近所ニ姑射山ト云仙居ニ對シテ居ルニ姑射ノ  
神人ノ如ク無為自然ニ治ムル神徳ノケルヲ羨テアル

九日

崔國輔

江邊楓落菊花黃少長登高一望鄉 九月陶家雖載酒三年楚客

登高ノ佳節トテ老少皆登高ニ登テ樂ムガ其中ニ 吾ガ如キ旅客ハ只專ラ故郷ノ方ヲ見望テイル 九日陶家雖載酒三年楚客

已露裳 古人九日ニ陶淵明カ処ニ白衣ノ人カ酒ヲ送タト云如ク吾ガ方モ酒ヲ貰フタ

題長安主人壁

其時分金銀ヲ持行タユ取持タカ落第ノ段ニ成タレハガマラヌ  
人ノ交リト云モノホ水カサイモノト憤リテ此詩ヲ壁ニ貼レ置ニナリ

張謂

世人結交須黃金黃金不多交不深 物ノ世人ノ交リト云モノハ黃金テモ沢山ニ取

ワズ交リモ 縱令然諾暫相許終是悠悠行路心 頼モシラ思テモツイ金銀デモナク

ナリ貧ニナルト今ニテ懇意ニシタ者ガ悠悠々ハテモナイ道通リノ如ク  
見又顔ヲシテイルヤウニナルサテクハト云モノハ實ノナイモノナヤ

送人使河源

故人行役向邊州匹馬今朝不少留 其元ニ今ニ御上カラノ使トナリ邊州河源

用ノユニ匹馬ニ乘テ 長路關山何日盡滿堂絲竹爲君愁 其元ノユカル先ハ長路

ヲ通ルコトニ先ノ盡ルト云モノナク毎日々々行カルデ有フト思ハ何ヲガナ饑別ニト思此坐敷

涼州詞

王之渙

黃河遠上白雲間一片孤城萬仞山 黃河ノ方ヨリ遠ク河上ヘ上リ行ケハ雲間ニモ

處ナレハ樂モアレ片ノ離レ城ガ萬仞ノ山 羌笛何須怨楊柳春光不度玉門關

只胡ノ者ガ笛中デ折楊柳ノ曲ノド吹クガ離別ノ感ヲ起シテ思イトテ嫌ハ片笛ニ何モ怨モナイ

怨モナイト云カ至極怨ガ深イ春ノ度ラヌ 怨モナイト云カ至極怨ガ深イ春ノ度ラヌ

九日送別

薊庭蕭瑟故人稀何處登高且送歸我今居ル薊庭ハ蕭瑟トガヒラテ我カ知音ト云ハナイヤウク其元一人アレ

追付別レル今日幸九日登高ノ節ナレド高キニ登リ錢別ラキウト思ヘ今日暫同旅ノナレバヤウスハ知ラズト云行テ酒ヲ飲ミ且別レノ盃ヲシタモノデアラフ

芳菊酒明朝應作斷蓬飛明日ハ早ヤ別ルヤガ今日暫ノ間此芳菊ノ酒ヲ共ニ

又ヒトリアル故人別ルト思ヘ別レテナゴリ惜イ

洛陽客舍逢祖咏留宴

蔡希寂

綿綿漏鼓洛陽城客舍平居絕送迎綿久不絶良早朝ヨリ連リ続イテ打ツ時

物サビレク誰有テ來リ訪フコトナク逢君買酒因成醉醉後焉知世上情其

醉夕内ハ世上ノヲ忘レテ居ルガ醒夕後ハ何ラアラフ

少年行

吳象之

承恩借獵小平津使氣常遊中貴人小平津ハ公孫弘カ知行処ナリ宰相ノ知行

使氣トハ漢書ニアル通り酒ヲモ飲ミ氣一杯ニ我カ終ニ氣象ナラフ云吾カ氣ハハイニ我カニ

一擲千金渾是膽家無四壁不知一擲ニカリ用ルナリ〇都ノ少年ノ馬鹿

貧後リヲキハ博奕ナドヲシテ一擲ニ千金ヲモ棄レ惣身カ膽ナクトイユニ何思ハスニ居ル如此

江南行婦人ノ情ヲ云張潮

茨菰葉爛別西灣蓮子花開猶未還茨菰ハ水草ナリ〇去年吾カ夫ニ茨菰

妾夢不離江上水人傳郎在鳳凰山妾ハ心憂ニモウツミ

昨夜秋風入漢關朔雲邊月滿西山昨夜ノ頃カラ秋風ノ吹來リ漢關アタリ

更催飛將追驕虜莫遣沙場匹馬還毛寒クナリ征伐ノ時節ニラモキ殊ニ朔

軍城早秋嚴武

雲モソラニタナヒキ邊塞ノ月モスミワタ更催飛將追驕虜莫遣沙場匹馬還此

リテ西山ニミチクテ物スゴク見ユル

分胡ノ者片カ入コムニ飛將軍ナド云ヤウナ大將ヲ催シ遣ハシテ都ヲ  
何レ思ハズ責ル驕虜ノエヒスヲ追拂ヒ大將ノ下知ヲ下スフヂヤ

重送裴郎中貶吉州

劉長卿

猿啼客散暮江頭人自傷心水自流

送リ其許ヲ送ル時ハ日クレカタニ猿モ鳴  
送リ見送リニ來タ客モチリギリニ

此江頭ヲ別ルハ行ク者モ送ル者モ心ヲ傷メ  
別レテ悲ム此ノ江水ハ何心ナク流レテイル

同作逐臣君更遠青山萬里一孤

舟

我モノナタモ同ク都ヲ追ヒ退ケラセタ逐臣ナレ其中心中デモ其元ハ遠國  
一流サレテ青山萬里ノアノ夕一孤舟ヲ浮ベテ行カレハイタミシイフヂヤ

送李判官之潤州行營

萬里辭家事鼓鼙金陵驛路楚雲西

今其元家ヲ辭シテ萬里ノアノ夕  
鼓鼙ノ軍事ヲ事トシテ金陵ノ傳

馬道ヲ通リ楚國ノ  
西潤州ノ方行カレ

江春不肯留行客艸色青青送馬蹄

我カ留メヌ前カ  
ス川バク春色

ガモシモ留メテモケルカト思ハ留メヌソフテ結句此人ガ馬ヲリ草ヲワケテ  
行カレハ迹カラモ月々ト生シテ送ルヤウニ思ハルリテ是非モナイフヂヤ

春行寄興

李華

宜陽城下草萋萋澗水東流復向西

此ノ河南府ニアル宜陽城モ昔ハ繁昌ナリ  
テ有タ今ハ誰モ往來スル者モナク掃除

山路鳥空啼

昔ハ大勢ドヨメキ花見ナドヲシタガ今ハ誰モ見ルモノモナケレハ只空ク自  
然ニ落ルニ任セテ置宜陽城ノ道ハ夕テハ春山ニサビゲニ鳥ノ啼テイル

ノ三誰愛スルモノモナイ  
昔トハ格別ナ体ヲ云ナリ

歸雁

此說ハ瀟湘テ作ル意ナリ又此方ニテノ作  
ニテアルミト云説アリ其時ハ点モチガウナリ

錢起

瀟湘何事等閒回水碧沙明兩岸苔

雁ガ瀟湘アタリニ來テ居ルガ何トゾ  
フシタテ心ヲトメス等閑ニ歸ルフゾ

瀟湘ノ風景ハ水碧リニ沙明カニ  
面白イ景景ガヤナヒステククフゾ

二十五絃彈夜月不勝清怨却飛來

琴ノ曲ニ  
歸雁操ト

云ガアルニ取合テ云○此処ハ帝舜ノ后娥皇女英ノ身ヲ沈タル処ナレハ其神靈ガ二十五  
絃ノ琴ヲ夜月ニ彈ノアラフナラハ其御怨ニタエズシテ却テアトスサリニ飛デ有フ

登樓寄王卿

郡主モ繁昌ナ地ヘヤラズ此ヤウチ  
ハ悲シイ処ヘヤアルニモ悲イト云フ含

韋應物

踏閣攀林恨不同楚雲滄海思無窮

韋應物ガ郡ノ奉行デ居テ樓ニ  
登テ作ナリ○林中ヨリズイト出

テアル閣ユカフ云ナリ高キ坐敷ヨリ見レハ林ハ目ノ下ニニテ攀上タヤウニニル高イ樓閣チ  
ヤ其元ト一処ニ上タラハ面白カラフガ諸君ニ遊アノモノラヌハ殘念チヤ其元ハ楚雲ノ方ニイラ  
ルガ我ハ滄海ニ居テ相隔テ一所ニ  
イルフモノラ子サバクイラ思ヒ出ス 數家砧杵秋山下 一郡荆榛寒雨中 登テ

トモカシコモ。砧ノ音ガスルガ。秋山ノ下ニキコエテモノ悲イ。一郡ヒトムラノ在郷ヲ云。荆榛ノムチヤクチヤト。ハエテ。彼ニモタヌムク。中ニ九雨。中ニモノ寂シクミル。其元ト一所ニミタラハハアル。イ

酬柳郎中春日歸揚州南國見別之作

廣陵三月花正開。花裏逢君醉一廻。揚州ノ廣陵アタリモ。春三月ユ。花ノ最中テアル。此時分外テモアル。花ノ裡テ。

其元ニ逢テ。酒ミリヲシテ。樂ム。南北相過。殊不遠。暮潮歸去。早潮來。逢テモ心易イ。太セナレバ。夕潮ノ時分歸テ。朝潮ノ時ニシテ。程ニイツ。逢テ。自自由由ナヤサノミウレエラルハ。ナト。慰メテ云フ。

送魏十六還北蘓州

皇甫冉

秋夜沈沈此送君。陰蟲切切不堪聞。秋ノ夜。沈々ト。フケユキ。物サヒシイ。時分。其元ヲ送ル。別レト云モノハ。只サハ悲イニ。

歸舟明日昆陵道。回首姑蘇是白雲。明日。歸ル。トナリ。

陰蟲切々ト。頻リニ鳴テ。イヨク。歸舟明日昆陵道。回首姑蘇是白雲。明日。歸ル。トナリ。

曾山送別

淒淒遊子苦飄蓬。明月清樽祗暫同。淒々ハ。ハチ。フ。レ。タ。フ。〇。其元ノ。旅。立。ヤウ。ス。ラ。ミ。ル。ニ。淒々ト。ミ。ス。ボ。ラ。シ。ク。

遊子ノノナレハ。宿モ定メズ。飄蓬トヨモギノトナリ。如ク。ア。テ。タ。フ。ナ。タ。ラ。遊。行。セ。ラ。ル。此。度。モ。南。望。曾。山。ノ。方。ユ。カ。ル。ユ。今。夜。月。ノ。夜。ス。ガ。ラ。酒。モ。リ。ラ。ス。レ。モ。ト。テ。モ。暫。ノ。チ。ヤ。

山如代黑色。愁君客路在其中。其元ノ。行。カ。ル。方。ハ。山。ノ。如。ク。青。ク。茂。リ。見。ユ。ル。ガ。定。メ。テ。ア。ノ。客。路。ヲ。ユ。カ。レ。ル。テ。有。フ。ト。痛。ハ。シ。ク。

愁へ思フ  
トナリ

寒食

冬至ヨリ。百五日メ。  
ナリ。二月ニアリ

韓翃

春城無處不飛花。寒食東風御柳斜。春ノ。寒。食。ノ。時。分。六。都。ノ。ア。タ。リ。ド。コ。モ。花。ノ。飛。チ。ラ。ヌ。処。モ。ナ。イ。此。御。祭。地。ノ。

日暮漢宮傳蠟燭。青烟散入五侯家。寒。食。ノ。日。暮。ハ。新。テ。

夕ニキリ。火ヲシテ。ソレヲ。蠟。燭。ニ。点。シ。テ。臣。下。ニ。下。リ。ラ。入。々。受。傳。テ。先。ツ。最。初。青。烟。ノ。烟。リ。ノ。コ。イ。処。ヲ。番。ガ。ケ。ニ。持。テ。ユ。ク。処。ガ。天。子。ノ。御。門。ノ。五。侯。七。貴。ノ。門。ニ。行。ク。フ。チ。ヤ。

送客知鄂州

知ハツカサトルトヨミセテ。奉行ノイ  
ニナル。是ハ韓翃ニ客タル人ナラン

江口千家帶楚雲。江花亂點雪紛紛。今。別。ル。処。ノ。江。口。八。家。ノ。千。軒。モ。アル。楚。邊。ノ。空。ト。モ。入。交。リ。テ。イ。ル。川。端。ノ。花。

春風落日誰相見。青翰舟中有鄂君。春。風。落。日。誰。相。見。青。翰。舟。中。有。鄂。君。日。ノ。時。

分。其元ノ。ウケトリノ。方。行。カ。レ。タ。リ。此。ノ。風。景。ヲ。共。ニ。見。ル。者。モ。アル。イ。ナ。レ。ヒ。ト。リ。見。テ。イ。ラ。ル。デ。ア。ラ。フ。痛。ハ。イ。フ。チ。ヤ。鄂。君。ハ。楚。王。ノ。母。弟。子。昔。青。翰。ノ。舟。ニ。乘。シ。タ。フ。ガ。說。苑。ニ。アル。ユ。奉。行。

ノフニトリ合セ  
テ云フナリ

宿石邑山中

浮雲不共此山齊此ノ宿石邑山ハ高キニ浮雲モ漸半腹ヲ廻リテ山ト不齊○山モコンモリトシテ

蒼蒼望轉迷蒼々ト茂テアレバトコドコモレシズ方角ノワカチモナク望轉迷

曉月暫飛千樹裏ノ月ノ歩シ全道見ヘタト思タニ早ヤ飛テ千樹ノ裏ニカクレテニス秋ノ空ヲ漢河ハ此方トハ隔テ草木ノゲツタ數峯ノ西ノ方ニアレドコドコト見テモナイ廣イ山デアル

送劉侍郎

宣城奉行者  
夕モノト見ユル

李端

幾人同入謝宣城未及酬恩隔死生謝眺カ如ク其元官ニツイテナルウチハ幾人カ大勢入リヨシテ恩ヲウケタカ官ヲ

唯有夜猿知客恨ステタレバ人モミステ受タ恩ヲ報ゼズ死ヲ阻タヤウニ見舞ニクル者モナイ此恨ヲ誰ニ語ル者モナイ人ハ見スア來ルモノモナイガ此人ノ恨アルヲ知テ鳴クモノハ猿バカリギヤ是ヲキカセテアラバヤソカテモカラフ

楓橋夜泊

張繼

月落烏啼霜滿天江楓漁火對愁眠旅泊ノノナク通宵寐ズ曉カト驚タ体ヲ云○山ニ入りカハ月カク

故園黃葉滿青苔ガ森ハサレコダニ敬馬テ鳥カ啼ヲ聞テ是ハ夜ガ明タソウナト思テ舟カラ顔ヲ出シテミタレ月モ入り空モキラメイテ川バタノ楓ノ間カラ漁火ノズナドリスル火ガ愁眠ト下子イリシテサツハリトサメ又目ニウチ對シテミルサテハ夜ガ深イ但シ夜ノアケタタタ疑テキケハ

聽角思歸

顧況

故園黃葉滿青苔ノ頃モ秋ニホノ葉モ黄バニ落テ庭ノ青苔ニミチノクテアラフ誰掃除スル者モナケレハ定メテ荒テタテアラフト愁思ヲ寐サメニキケハ曉カタ胡角ノ声ガ物悲シクキコテ旅ノ愁ヲ引起ス

此夜斷腸人不見起行殘此ノ曲ヲ聞テ悲シサヲ誰ト語ラフ者モナク愁深フシテ寐モヤラズアチコチアケイテミレバトコモカレモ月ガ移テミユルヘイヨク愁カマスデアアル

宿昭應

玄宗離宮  
有夕処ナリ

武帝祈靈太乙壇玄宗ノ幸ナサレテ新豐宮ノアタリ樹陰林ノ邊ニ官人匠カ敬言固ニ繞テ花ヤカナテアリシカ

那知今夜長生殿獨閉空山月昔漢ノ武帝ノ壇ヲ築テ天ノ神靈ヲ祭タ如ク玄宗ニモ祠ラシタ其時分ニハ

影寒誰往來那知思モヨラス今夜此ノ長生殿ノヤウスラミレバ古トハチカイ閉チクサレテ誰往來スル者モナク月ヲミル人モナク物サビレイフカナト古ラ感レイタム也

武帝祈靈太乙壇新豐樹色繞千官昔漢ノ武帝ノ壇ヲ築テ天ノ神靈ヲ祭タ如ク玄宗ニモ祠ラシタ其時分ニハ

湖中

青艸湖邊日色低黃茅瘴裏鷓鴣啼

青艸湖ノアタリ。日モ傾キ暮合ニ黃茅ノ中ナト六都ニ見ナレタ鳥カ啼テ

イハル此ヤウナ処へ來ヤウトハ思モヨラタモノスライ処ニ來テイルフカナ

丈夫飄蕩今如此一曲長歌楚水西

我モ功ヲ立テ高位ニモ上ラ

フト志シタル丈夫ナレバカヤウニ落ブレテ慰ム方モナケレバ此詩ヲ一曲作り楚水ノ西ニウタフテ吾心ノ愁ヲハラスノミチヤノ蒼梧ノ南毎歲厲風瘴氣ト云テ惡熱氣ガ有テ災ヲナスヲテ夏ハ青草瘴トイヒ秋ハ黃茅瘴ト云フ

夜發袁江寄李穎川劉侍郎

戴叔倫

半夜回舟入楚鄉月明山水共蒼蒼

半夜舟ヲ浮テ楚鄉ノ方ニカガリ越セハ空モ晴レワタリ月モサエ山ガ水底

ニ移テ共ニ蒼蒼ト見テ

孤猿更叫秋風裏不是愁人亦斷腸

ソノウハ秋風ノ裏ニ孤猿ガサケビ物悲シイ是ハ

旅客ガカリカト思ハ愁ノナク人モ夜情ヲ催ス況ヤ我ラガヤウナモノハ甚ダカナレハ旅ハ同シナリナト定メテ其元ナドモ悲シカラフト我ガ思ヒヲ寄スルナリ

寄揚侍御

包何

一官何幸得同時十載無媒獨見遺

我モカヤウナ輕キ一官デモアレドフレタ仕合セテアヤウニ其元ナト同時ニ勤テ

イルゾ是レ幸イナリナレバ其元ハツカイト立身セラレタレ我ハ仕合アイツモ同シ役テイル誰ニ媒トナリテスノアケテクル者モナク獨リ遺レレ者ニ成テイル

今日莫論腰

下組請君看取髮邊絲

今成テハ役ノ高イノ低ノト云フナハ云テクレラレハモウ其段テハナク髮邊イトヲミダシタ如クシラガ成タレハ官ニ

進テモ役ニタヌ者取ニノクセラレト云ホドノト取ハツケテ字ナリノ腰下ノ組ト云ハ官人ノ腰ノ飾ノ糸官ノ高下ニヨリ色品ニ替リアルナリ

汴河曲

汴河ト云ハ六國ノ歌ノ曲也隋煬帝ノ鑿リレ河也

李益

汴水東流無限春隋家宮闕已成塵

昔煬帝ノ此河ヲサグリ通サレテヨリコノカタグル春モく限リナク替ル

モナイ煬帝ノ宮殿ハ跡方モナク成タ

行人莫上長堤望風起揚花愁殺人

此アタリヲ通ルモ必ス此ノ長堤

ニ上テ望ミ見タガレガカマヘテ目ルヲヨナセナレバ長堤ノ楊柳ガ風ニ吹トバサレテ見ルニ恐ヒ又ホド見ルナト云ガ手前ノ愁ヲ廣ク云ナリ

聽曉角

邊霜昨夜墮關榆吹角當城片月孤

邊塞ハ早ヤ昨夜ノ頃ヨリ霜ガフリ關所ノアタリモヨホト寒ク物スゴク

成タノ榆ハ關所ナド天々植置木ナルニハ關榆ト云ハ關所ノコトニ胡角ノ聲ガ城ニ當リ曉ノ聲形ノテラス時分モ悲シクキコニイヨクタエガタイ

塞鴻飛不度秋風吹入小單于

鴻雁ナドノ飛來ル時節ナレバヨクク此ノ用處ガ悲シイヤラ此方ハ飛渡ラヌ鳥サヘキクニタエガ

タイソウツナモウ止ムト思ニ秋風ノ吹クニカセテ  
小單子ノ曲ヲ吹出シテ聞ニ愁ニガナシク成タ

夜上受降城聞笛

回樂峯前沙似雪受降城外月如霜

夜上受降城ノボリニハ回樂峯ノ近  
処ハ沙漠ノ上ガマツ自クテ雪ノヤウニ

見ユル手前ノ登タ受降城アタリハ不知何處吹蘆管一夜征人盡望郷

此風景ノサビシイヲリカラスドコトモ芦管ノ曲ヲ吹クガキユル此曲ヲキイ  
テハ此アタリヘ征伐ニ來タ者ハ故郷ヲ思ヒ出ステアラフ我ガカリテハアルマイ

從軍北征

天山雪後海風寒橫笛偏吹行路難

天山アタリモ雪後ナレハ海風寒クシテ此ア  
タリヲ往來スルサモノスユイニ橫笛ヲ偏

旅人ヲ悲シニスル行路難ノ曲ヲ吹ク積裏征人三十萬一時回首月中看

ノウチニ征伐ニ來テイル者モ三十萬ホドアラフガ一時ニ首ヲ回ラレブリムイテ  
セク此ノヤウノ大キ曲ハドコトモ吹ク方ヲミテイル

楊柳枝詞

唐ノ世出來タ樂府ナリ柳ノヲ云  
ハ楊柳枝ニテユニ隋煬帝ノヲタリ用

劉禹錫

煬帝行宮汴水濱數株楊柳不勝春

昔煬帝汴河ヲ開カレテアリテ行幸  
ナカレタ宮殿ナドモアリ又柳ヲ愛セラ

晚來風起花如雪飛入宮牆不見人

日クレ方ニ見レハ風ノ起ルニ吹チラリシテ揚ノ花モ雪ノ如ク飛ビ乱レテ宮牆ニ入  
レ誰愛スル者モナイ昔煬帝ノ繁昌ナ時トハ格別チヤト古ヲ懷テナクナリ

與歌者何戡

二十餘年別帝京重聞天樂不勝情

我レ帝京ヲ別レテヨリ久シク漂泊シ邊土  
ニイテ今チ都ニ歸リフタビ禁裏ノ音樂ヲ

舊人唯有何戡在更與殷勤唱渭城

キクニ面自カリソウナモノナレバ二十餘  
年前ノ一ヲ思出シ却テモノガナシイ  
廷ヲ見ルニ昔シ吾ト諸共對シタ朋友ハ入モノク只モトノ者トハ何戡ノ歌者ノニ在テ更ニ殷  
勤ニウチカヘシク先年離別ノ時分歌フタ渭城ノ曲ヲ唱ヘテキカスルガ是レヲキケバイヨク  
悲シニガ  
生スル

浪淘沙詞

此詩ハ古樂府ニシテ  
閨中ノ情ヲ云フ

鸚鵡洲頭浪颭沙青樓春望日將斜

鸚鵡洲アタリ浪ニ沙ガタヨサレテイル  
景色ヲ青樓ヨリミテイレハ今日ノ日モ

銜泥燕子爭歸舍獨自狂夫不憶家

西ニカタフキ暮ナントスル長キ  
春ノ日ヲ毎日詠メクラシテイル  
夫ハ他國ニ出テ歸ルヘキ日限モスギヌレドフシタイテ有フトアシ向ラニハ燕子ガ泥ヲ  
フクニテ暮方歸ルキ時ニカユルニ狂夫ハ妻ヤ子ヲノヲ思ハソウチ不届ナ人デアル

自朗州至京戲贈看花諸君

紫陌紅塵拂面來無人不道看花回  
紫陌ノ都ノ町モ今ハヲヨリ者ガ出來テ  
明中ヲ毎日々々大勢往來ヲスルナハ  
塵ヲケタテテ面上ヲスリ拂フテ通ル都中ノ者ガ遊ビニ  
ノミカツテイルユトト逢テモ花ヲミテ歸ルト云ハヌ者ハナイ  
玄都觀裏桃千樹盡是  
劉郎去後栽  
老子ヲ祭タ玄都觀ノアタリモ花ガサキツレ桃モスヘテ千本ホドモアラフ是ハ  
手前劉郎ガ都ニイタウチハナカツタカ他國ニタ後ニウエタアラフ草ト替  
リテタカナノ言禹錫因京日繁華盛於昔時暫時更改  
京師事豪奢可惡蓋誠當時多変態也

涼州詞

張籍

鳳林關裏水東流白草黃榆六十秋

鳳林關アタリハイソ水東ニ流レテモト  
ヨリ都ノ地ナレハイソノ頃ヨリカ白草黃  
榆ノ夷ノ地ニルノ年久シク  
六十年程モ奪ハレテイルカ  
邊將皆承主恩澤無人解道取涼州  
ラドレモ皆君  
御恩ヲウケテ

イヌ者ハナイカ誰テモ此ノ地ヲトリ  
モトソウト云モノナイハ残念ナクチヤ

十五夜望月

王建

中庭地白樹棲鴉冷露無聲濕桂花

今夜ハ三五ノ夜トテ中庭ノ風景ニソ自  
クシテ月モリエワタリ庭樹ニ鴉ノト宿

ニテイルガ宵ノウチハ月影ニ驚テリワイカ夜フケ成タレバチツイテ樹ノ中ニスチ  
イル夜フケユカ冷ナル露ガヲクトハ知レ子声ナクシテ桂花ガ濕フテ見ユル

今夜月

明人盡望不知秋思在誰家

今夜ハ三五ノ月トトドクモ望ミヌ者ハナイカ  
此風景ノ感レ秋ヲ悲思ハ吾バカリテ有ラフ

送盧起居

起居ハ高位ニ役ガシテ  
故郷ノ歸ルヲ送ルナリ

武元衡

相如擁傳有光輝何事闌干淚濕衣

古司馬相如ガ中郎將ニ拜セラレタ時  
御傳馬ヲ蜀ノ故郷ノ歸ルトテ美シク

花ヤカニカサリユテイタト云ガコトタモ出世シテ此度故郷ノ歸ラユ相如カ如ク傳馬ヲ擁シト  
リマシ光輝アリテヒシウシテユカルユ喜バシイナレハ五ハドフシタテハ關干ト淚カ流レガソクニ  
モナクナゴ  
舊府東山餘妓在重將歌舞送君歸  
ラナカト思ヒ知フヌ妓ガ初  
コトタノ舊トメラタ役所ノ迹処東山アタリノナジシタ餘シノ妓ガ  
アルヲ呼ヨモ前ノ如ク歌ツ舞ツ共々ニナダクサメテ送君歸ラ

嘉陵驛

此ノ詩ハ蜀ノ行ク道中  
嘉陵驛テノ作ナリ

悠悠風旆遠山川山驛空濛雨作烟

悠悠トガテシモノ道中殊ニ持チユク旆  
ナドヲ風ガ吹テヒカシ山川ノ難所ヲ遠リ

行ク道スガラノ風景ハ山地ノ驛路モ空濛トクラククモリ今  
降タ雨モ烟ノヤクニ成テトコガドコヤラ見分チモナラヌ

路半嘉陵頭已白蜀

門西更上青天

トコ迄モカヤウナ処ヲ通ルユ髮モ白クナルホドツカレタカヤウク今  
通ル嘉陵ハ半分道ヲ西ノ方蜀門ヲハ何程アルヤシニ遠イチヤ



漢苑行

張仲素

回雁高飛太液池新花低發上林枝  
春ノノニ雁ナドモ高く太液池ヨリ飛去テ北ヘカエル春ノ最中ナレ上林苑ノ花樹ノ枝ニモ新々ニ花ガ咲ツレテ地ニ  
年光到處皆堪賞春色人間總未知  
光至ル処賞スルニタテ面白イ風景チヤカ宮中ノ春色ユヘ天子ノ御覽ナサレテ人間外ノ者ハ三ノモナラヌ又ノ説ニ天子ヲ初メ人間總テ未知此花ヲ誰ヒトリニル者チイ是ハ亂後風景モ通スルナ

寒下曲

三戍漁陽再度遼  
我レモ此漁陽アタリヘ三度ホトモ戍リ來ルチヤ邊塞ヘ戍リニ來テイレハ驛弓ヲ臂ニカケ箭ヲ腰ニサシニ横タテテハラクモ身ヲ離ラズ用心ヲスルチヤ  
更射鵞  
匈奴ノ者モヲレカ今度戍リニ來ル上云フモ知レバイガ扱々アノ入ハ切々來ル人チヤト思ヤタヤスタ各ヲ云ヒ心易クスルチヤハナイ程ニ必ズ唐サカイノ陰山アタリヘ來テ鵞ヲ射ルチヤコツケテ都ノ地ヘ踏込ムチヤハ征伐ニクトラトス也○胡人丸中國ヘアミヨミ雁鴈ヲトリ矢ノ羽ニスルチヤ射鵞ト云是レ中國ヲ

又

朔雪飄飄開雁門平沙歷亂捲蓬根  
邊塞ノ北ノ方ヨリ風雪飄々トフリ來ル故雁門ノ陣屋ノ門ヲ開イテ見レハ平々タル沙漠ニ塵土ノ風ガ吹キ乱レテ蓬根ナドモ吹キマカレテ枯レテ見ユル  
功名耻計擒生數直斬樓蘭報國恩  
ラトテモ此ノヤウノ寒イ處ヘ來テ苦勞スルチヤハ大功ヲ立テ名ヲ天下ニ擧タカヨイ中ノ生擒ニスルチヤ功名ノヤウニ覺テソレノミカツテ居モ耻カレイフチヤ吾ハ其ヤウナト一國ノ御恩ヲ報ヒ忠義ヲ立ヤウト存スル

秋閨思

碧窗斜月靄深輝愁聽寒蟬淚濕衣  
女中ノ居ルニテ張リノ窓ヘ斜ニ月ガサシイラリフニ寒ソウニキリクスガウレハシク鳴クチヤ  
夢裏分明見關塞不知何路向金微  
サレ込テ與深クキライト見テ物キケバイトサシフ成テ夫トノヲ思ヒ出シ淚濕衣  
夫ヲ思フニ付テ夢裏分明ニタツタ今夫ノ居ル關塞ヲ見テ夫トニ逢タカラ金微ニ向イ行タソ道ヒ知ラヌニ不思義ナコトチヤ分明ニ逢タヤウニ有タガ

郡中即時

羊士諤

紅衣落盡暗香殘，葉上秋光白露寒。資州三奉行七夕時ノ作ナリ。紅衣ノ落散シタレバ、ダドコ花ナク、香ガ残テアル。秋ノハ故ニホノ葉ニ露ヲラビ、スサミク、物スゴケレバ。越女含情已無限，莫教長袖

倚欄干。此邊ハ越ノ國ノ義人ガ多ケル。此花ノ落タラ見セタラハ秋情ヲ含ニイロク、愁ヲ思ヒ出ステアラフホドニ必ズ長袖ノ義人ヲ。闌干ニヨヒテ見セルナ

登樓

槐柳蕭疎繞郡城，夜添山雨作江聲。秋ノ時分ナリ。槐柳ナドノ葉モ落チ、雨ガ降タユニ偏ニ声モ高ク、物スゴイ。秋風南陌無車馬，獨上高樓故國情。

此ノ時分、誰ゾ訪フ者アラバ語テナクサマシガ、南陌アタリモ車馬ナクサビシクテ、獨リ樓上ヘ上テ、サビシイニ付ケテハ、故郷ノヲヲ思ヒ出メヤムニタヘヌ。

酬浩初上人欲登仙人山見貽

柳宗元

珠樹玲瓏隔翠微，病來方外事多違。仙人ノ居ル所ハ人間世トイカフヲ、樹微ヲ阻テ、向ニ見ユル。我病身者ナリ、コナタノド、諸共ニ方外ノ仙山不屬分符客

任凌空錫杖飛。ヒトヨリ、仙人山ナドハアラガヤウナ。符ヲ分ツ官人ナドニハ付屬セテ、バコナタハ神通ヲ得テ、コトカラス空ヲ凌テ、錫杖ヲ飛バシ、ヒトゲラカニ打任セテ

オク中々及ヒモナイ、羨シイコトナリ

題延平劍潭

是年將莫邪劍ノヲ云フ故事ナリ。訓解ニ委シ見ルニ見サレハ詩ノ意ガ合点ガ行カヌ

想像精靈欲見難，通津一去水漫漫。干將、莫邪ニ振ノ靈劍ガ此延津ニ沈タト云フ。ゾヤガ今共劍ノ精靈ヲ見ヤウ空餘千載凌霜色，長與澄潭白

日寒。空ク千載ノ後ノ世ニテモ凌霜ノハヤイ、燒キヌノ色ノニシテ、餘ニ長クテ澄ニタヘタ。潭水トモ此水底ニ有テ、白日ニ映シ、ユスサシク覺ユル。ニ中ニ見ケルナリ、又各劍ヲ

聞白樂天左降江州司馬

元稹

殘燈無焰影幢幢，此夕聞君謫九江。幢々ハ不明白、曉方ノ焰モナク、追付消ナニスル燈ナレハ影モ幢々トシテ、小暗ク

死病中驚坐起，暗風吹雨入寒窗。吾モ此頃ハ大病テ、中々動キモ、ハイモナラヌガ、ソレヲ聞テハ是ト驚キ、ハ子ヲキテ、身タ

旅立多虞，テアラフガ、サソ物スゴクアレテ、ラクト思ヒ行テ、逢フイモナラヌハ、残念ナラテアル

胡渭州

張祐

亭亭孤月照行舟寂寂長江萬里流亭々ト高キソラニ撰テ居ル月ガ此カノ乘リ行ク舟ヲ照ラスノ此夜

スカラ寂々ト物サビシイ時分萬里長江ノ流レリユクハイヨク物ウイ旅路ヂヤ 鄉國不知何處是雲山漫漫使人愁カヤウニ廣イ旅ノ海上ヲユケハ吾ガ故郷不知トコラアタリヤラミレ不見タ、雲山ノ漫々トテモナク幾重モズイテ旅人ノ愁ヲマヌノミテアル

雨淋鈴

是ハ玄宗ノ祿山ガ亂テ蜀ヘ落ラレシ時道ニテ長雨ニ逢イ雨ノ鳴ル音ガ鈴声リ如ナルヲ聞キ其声ヲ取テ雨淋鈴ノ曲トシテ貴妃ヲ痛ミ思フ其時分樂人ノ張徽ト云者ガ玄宗ニ付テ居テ

玄宗ノ其曲ノ調子ヲ教ラシテアル玄宗ノ製作ノ曲ナリ

雨淋鈴夜却歸秦猶是張徽一曲新昔玄宗ノ蜀ノ道中テ製ナサレテ雨淋ノ曲ヲ歌フタ夜スカラヲ思ヒ出シテ今秦ノ都ニ歸テ御座ナサレトモ又其曲ヲ奏セヨト有テ猶樂工ノ此張徽ト云者ガ一曲奏シタレハイヨク新タニ悲シク聞ヘル 長說上皇垂淚教

月明南内更無人サテウノ曲ト云ハ張徽ガナレモ長ク云ハ是ハ玄宗ノ淚ヲ多ク悲シテ吾ニウリカヘシク細カニ教ラレタ曲ト云タガ此曲ヲ今夜明月ノ夜

スカラ奏スルニ南内ノ興慶宮ニ此曲ヲ歌タ玄宗モ亡テナク貴妃モ無ク誰レ聞者モナケレハイヨク物アハレニ思ハル

號夫人

是レ貴妃カ婦ナリ 號國夫人承主恩平明騎馬入宮門號國夫人モ天子玄宗ノ御寵愛ヲ受ケ

ルト馬ニ打ノリ天子ノ宮門ニ入リ參内申サル 却嫌脂粉汚顏色淡掃蛾眉朝至尊ニハ脂粉ヲ以テ裝フ

モノナレ此義人ハ氣量ガスケタ故ニ化粧ナドヲスルガ嫌ヒテ〇只サント眉モ薄ゲシヤウヲシテ天子至尊ニ朝セラレタガイヨク風流デ顏色ガウルニカタ

度桑乾

客舍并州已十霜歸心日夜憶咸陽我モアカ又故郷ヲフリステ并州ノ旅舎

モアキハテ今頃ハ歸心ヲ生シ晝夜故郷ノ咸陽ノ都ヲ思イ頻リニ歸リタク成タ 無端更渡桑乾水卻望并州是故鄉無端何ノヨレモナイニ又タ更ニ桑乾ノ水ヲ渡ルニ付テ跡ヲフリカヘリ今迄居タ并州サハ遠ク見ユル〇并州ニ居テサハ故郷ハ遠ク見タニ此処ニ來タレハイヨク故郷ハ遠ク阻テ此処ヨリ并州ヲ見望メハカク遠イ如ク故郷ハイヨク遠ク成タ故ニ此ノヤウニ旅ニノ三居テイツ飯ヲフヤラ知レト思ハ猶々思ヒガ増ステアル

成德樂

古樂府也 趙女乘春上画樓一聲歌發滿城秋趙國ハ妓女ノ多イ処ヤガ其妓女居ガ春ノ風景ニ乘シテ畫樓ニ上リテナクサシテ

歌ハリアゲテ歌スガ其声ガ城中ニミチクテ其アタリノ者皆感ラナレ愁ヲ起シテ春ナガラモ心中ガ秋ノ如クニ成タ 無端更唱關山曲不是

征人亦淚流歌ヲ聞テサハ悲シイニヨシテ更ニ關山月ノ曲ヲ唱ヘ出シタレハ此アタリ征伐ニ來ラヌ者サハ此声ヲ聞テ悲ニテ生シ淚ヲ流シテ居ルガヤウニ征伐ニ來テ

王表

賈島

居ル者ハイヨク  
悲ミヲ生スル

漢宮詞

漢ノ武帝ノフナドヲ云ハ  
漢宮ノ詞ト云フニナル

李商隱

青雀西飛竟未回君王長在集靈臺

是ハ武帝ノ時青雀カ來テ宮殿ノ上  
ニ下ル是ヲ東方朔問タシ西王母

テヨリト云フ追付西王母來リ武帝ニ對シ咄ナドヲシ飯ルサニ三年過テ又來ヤウト云テ行タ  
ガ終ニ其後來ナシトナリ其事ヲ云ステ兼テ仙人ヲスクラフソリ宮女怨ラ云ク青雀  
一度來タシ西王母カ來タ飯ルサニ三年過タハコウウト云タカ西ノ方ヘ去テ三年過レ尼竟ニ來  
ナシト云ウシタアテモナイ偽リヲチヤニ君ハ誠ト思召シテ常住不斷西王母カ來ルカト待チウ  
ケテ集靈臺上ニゴザルカヤウニ仙人ヲ戀ヒシタヒ仙人  
タニサレテ仙菜ナドヲ好ムルカラチモナイソレモ幸イ侍臣最右相如渴不賜金莖露  
一杯侍臣ニ渴キノ病ヲヤシテイル相如カ御側近ク侍テ居ルカヲ仙菜ヲ子ル金莖ノ露ヲ一  
杯飲マセテ御覽シタメシテ信仰ナサルハ善惡カ知レテヨイソウシタフヲモセス只メ  
ツタニシレモナイヲ信スル是ハカリニカツテモイニミクトテ久シク  
奧ムキヘモ入ラセラレヌハアサカナ甚タラロカナ天子ヂヤ

夜雨寄北

友タチノ方カライツ飯ルソト云テ  
フミタモノガアル其答ニ寄スルナリ

君問歸期未有期巴山夜雨漲秋池

コナクノ方カライツ歸ルト問テフコサレタ  
ガニタイツ飯ラウモ知レヌコトニ巴山アタ

秋池ニ漲リ此風景ニ對シテ暮シテ居ル

何當共翦西牕燭却話巴山夜雨時

我モイツカ早ク故郷ヘ歸リ共ニ西牕ノ燭ヲ翦リカキタテ今夜巴山夜雨ノ物サヒ  
シイ旅ノウキ難義ノ物ガタリラシタウ思フガイツ飯ラウモ知レ子ハサキノアテハナラヌ

寄令狐郎中

二字ノ  
氏ナリ

出嵩雲秦樹久離居雙鯉迢迢一紙書

相別レテヨリラレ嵩山ノ方ニ居リ子  
タハ秦ノ都ニ居テ各々所ヲ阻テ居マ

陵秋雨病相如

定メテ子ナドハアガ梁園ニ居ルユ古ハ梁ノ孝王ノ賓客鄒陽等  
カ如クヨイ官ニツキ用ラレテ居ルト思ハレウガ必ス其ヤウニアラフト問

尋子テクニラルナ

此夜雨ノ時余病氣ツキ打卧シテ居ルハ司馬相如ガ病ニツキ引込タ如ク  
ニモウナニモカモウチスタレテ居ルカラ引込ムガマアアルト思テ居ルホドニ必ズ問尋ラルコトモ

御無用アコサルト實ニ下心ハイイ  
官ニモ立身セストイキトアリテ云ナリ

秋思

許渾

琪樹西風枕簟秋楚雲湘水憶同遊

是ハ秋ニ感シテ我が年ノヨルヲ思テ  
作タ詩ナリ琪樹ノウルハレイ木ノ間

西風ノ起ル時分タカムレロウ高クシテ庭ノ風景ノ物サヒレイニ涼レイヲ枕ラシテ子コロシテ居テ  
見ルニ付テ我が若イ時ヲ思ヒ出シテ先ツ句面ハ我レ若イ時ハ楚國ノアタリ湘水ノアタリヲ  
飛アルイテ遊シタカ年ヨリテアリシ昔ガ思イ出サル底意ハ楚雲ト云ハ巫山ノ神女ノ湘水  
ハ娥皇女英ノフニ若イ時ハ春ノ時分杯ハ色遊ヒラレテ美女トナクサニ遊シタカ今ハ此ヤ

ウニ年寄タレハ只打卧 高歌一曲掩明鏡昨日少年今白頭 何モナクサニハナ  
此時ヲ面高々

ト歌イナクサム若イ時分ハ鏡ヲ取出シテ見ブリラタシテダカモハヤ此コトハ鏡ヲ手ニ取テモ見  
ヌカラ箱ニ入レ取テツイタ○昔少年ノ時カウデ有タカ今ハ白頭ニナツタ此ヤウニ早ク年ノヨ  
ルモノカト秋ニ感シテ  
愁ニタエラレヌ

江樓書感 江樓ニ上テ感  
慨ヲ書スル也

趙嘏

獨上江樓思渺然月光如水水連天 ニ去年ハ大勢諸共ニ上テ遊タカ今年ハ我  
獨リ上テサレニ付テ渺然トシテモナク  
サミククヲ思ヒ出ノ去年ノ一返ガ思ハ樓上ヨリニ三月モサテテ水ノ面ヲ真白ク照ラ  
シテ水天一色ニウツラフテ面白イ風景ナレ何ヲ云テモ人ナレバナクサニモナラヌ 同來

翫月人何處風景依稀似去年 本年此樓上ニ共々來テ月ヲ翫ヒ樂ニタ知音ハ  
今年ハドコニ行タカ一入モナイガ風景ハ依稀ト  
ドウヤラホノカニ見タヤウテ去年ニ相変ラヌカ  
人ト云モノハ定ノナイ者チヤト感ヲ起シタルナリ

楊柳枝 皆ナ柳ノ名所  
ヲ揚ゲテ云

温庭筠

館娃宫外鄴城西遠映征帆近拂堤 吳王夫差ノ立テラレタ館娃宮モ柳ノ  
名所テ柳カ青々ト栄テアリ魏ノ  
都シタ鄴城モ名所テ柳カサカニ芽リシテアリ此柳ヲ見レハ遠ク館娃宮ノ前ニアル柳ハ遙  
ニ向テ通ル舟ニ映シ近クハ鄴城ノ西ニアル柳ハ枝打タレテ堤ヲウチ拂テラ見エハ此柳ヲ見レ

頻リニ故郷へ歸リ 較系得王孫歸意切不關春艸綠萋萋 較系得ト云ハ  
柳ノ系ガツナ  
ギトメテ歸サヌト云心是ハ楚辭ニ王孫遊兮不歸春艸生兮萋萋タリト云カ旅ニ立テ者ハ  
春艸ノワカキ生シタラ見テハ歸心カ生ズルナリ○吾モ王孫ノ如ク旅ニ遊テ居ルカラ故  
郷へ歸リタイト頻リニ思ヘドモ此柳ノ糸ガ歸心ヲツナギトメテ歸サヌ  
ニ故郷春艸ノ生シテ綠リニ青々トシタリタラアツカリニルヘナラヌ

折揚柳

段成式

枝枝交影鎖長門嫩色曾沾雨露恩 春ノ二之柳モ榮枝々影ヲ交下ヲカ  
官殿ヤラ知レヌヤウニシタリトサシ  
テ居ル○コレモ嫩色ノワカバエノ時ハ雨露ノ恩澤ニ露テカヤウニ盛長シタモノチヤ  
○底意若イ時ニハ君ノ御寵ニ愛ニアツカリ恩澤ヲウケタイサノ情ヲ云フ 鳳輦不來

春欲盡空留鶯語到黃昏 鳳輦是モ帝ト諸共ニ見タナラハ面白カラフニ龍  
愛モスタレテハ八帝ノ鳳輦モ不來春ハ尽キハツレ  
誰見ル者モナク空ク鶯ノ鳴ク聲ノニラ餘シ留メテ  
朝カラ晩テ鳴テ居レトモ誰レ愛スル者モナイ

宮怨

司馬禮

柳色參差掩畫樓曉鶯啼送滿宮愁 柳モ榮參差ト長イ枝モアリ短イ  
枝モアリサ中ノ居ル畫樓ヲ掩ヒ  
グツテアル○コトニ曉方鶯ナドカ此柳ノホトリテ鳴テ  
居ルが見ルウヘ聞ウヘガミナ滿宮ノ悲シノ種トナル 年年花落無人見空逐春

泉出御溝年々花ハ落チ散テユケテ深キユニ入ノ來リミル者モナク空ク水上ニ落

年モヨリ顔色モヲト只行ケ尼奥深キ宮中ニ居レハ人ニモ知フレズ君モ寵愛セラレス空ク年ノ老イテラテククニシヤ

宴邊將

張喬

一曲涼州金石清邊風蕭颯動江城此涼州ノ一曲ヲ金石ノナリモノニ奏スレバ

折フレ邊土ノ風ハゲレク吹キ蕭颯ト物スゴクモテ江城ヲウゴカス坐中有老沙場客橫笛休吹塞上聲此市

カキ時分ヨリレテゴノ沙場ヲ成リニ來テ老タル人ガアル程ニ橫笛ノ調子ニ必ズ塞上ノ聲ヲ吹キ出シテクレルナ其声ヲ聞クナラバ物カナレカラフホドニカマテ吹クナト大将ヲナクサハナリ

退朝望終南山

是亂後風景ヲ云

李拯

紫宸朝罷綴鴻鸞丹鳳樓前駐馬看只今其中ニ於テモ紫宸殿ニ朝參

行列ヲ乱サズ帰ルサニ禁裡ノマリ唯有終南山色在清明依舊滿長安京

丹鳳樓前ニ馬ヲ駐メテ看シハ風景モ古ヨリハ何モカモ替リハテアル唯終南山ノ色ノ青々トシテ清明トバレヤカニシテ

依舊モトノ通りニ相替ラス長安ノ中ニ滿テトコラフ見テモ聳々テ見ユル朝廷ノヤウススツリ格別ニナツタ

華清宮

崔龜

草遮回磴絕鳴鑿雲樹深深碧殿寒天子ノ行幸ナリハ回磴ノ石坂山

リ遮テ御車ノスノ立目ニ絶々此華清宮ノアタリニ雲間ニ秀々大木モ深々トシテク深クシテ明月自來還自去更無人倚玉闌干唯昔ニカラハ又明月ハ照シ來リ照シ

共々此宮殿下大勢引シテナクサニ今ハコノ玉闌干ニ倚リテ誰レ此月ヲ見ル者モナクお廢レタ体ナヤ

古別離

韋莊

晴烟漠漠柳毵毵不那離情酒半酣春ノ初ノイナレハ空ク風景モ晴レワ

吹キ動カサレテ面白イカウレタ折カテ我が親レイ者ニ別ルハ残念ナガ離情ハ是悲モナケレモ更把玉鞭雲外指斷腸春色在江南コトタモ馬ニテ我モ馬ニ乘テ送ルニ

子タアノ方ヨリ江南ノ方行カレガ腸ヲタツガリニ思フ江南ハ春モ早イ処ナレハ江南春色ヲ見ラシタナハイヨク思ヒガメステアラフト思ヤルテコソアレハ動ク負ナリ

宮詞

コレ吾レ若盛リノ身ナレハ寵愛モナケレハイソ町屋へ出テ人ノ女房ニテモナラフト思ヒソレモノラス徒三年ノ老ルヲナゲクナリ

李建勳

宮門長閉舞衣間略識君王髮已斑

手前ニ於テハタゞ今ハ帝ノ寵愛モアツカラ子ハ宮門ヲ閉チテツイニ開イタリ

手ク舞衣モ帝ノ御側ニ出ルト云フモノケレハ捨テ置テ著ルト云フモノク間テアル〇畧トハタシカニヤウノスハ知ラ子ハ畧大概ハ知レテ居ル天子ガ若ケレハハダ用ラルルモアラフガ君王モ髮ニ百髮ガニシリテ御年ヨラレタレバ却テ羨落花春不管御溝流得到人間  
是ニ付テ羨モハヤ寵愛モアルミイ  
北落花ハ落散レ誰モ不管トカハス落散ルニ任セテ御溝ノ水トハ流レテ人間ニ流レ出ルガ吾ハサスガ一旦天子ノ御手ノツイタ者ナレハ人間ニ出ルルモノナラス徒ニ宮中ニ年寄ノニ扱々ナケカハシイコトナヤ

水調歌第一疊

張子容

此詩何ヲ云タレ知レヌガ邊塞ムキノ体ヲ云也〇第一疊ト云ハ陽関三疊ナド云ヤウニ打返シ打返シ歌フ故ニ曲ゴトニシヤウガモチカフナリ

平沙落日大荒西隴上明星高復低

平々タル沙漠ノ名目ガタツトノ世界ノ大荒ノ西ヲ見レハ隴山上ニ三星ガ

タツタ今高イカト思ハ低クタレテトツクト夜ニ入タレハ孤山幾處看烽火戰士連營候鼓鼙  
孤山幾處烽火戰士連營候鼓鼙  
ドノ山デモ方々テ合ツノ火が見ユル故ハ戰士ノ陣屋ヲ立テ連テ居ル者凡カ今モ陣大鼓ノ音カスルカトシバラクモ油漸セヌ

涼州歌第二疊

朔風吹葉雁門秋萬里烟塵昏戍樓

秋ノノナレハ朔風モ木ノ葉ヲ吹散乱シテ雁門郡アタリ秋ノ風景ナレハ朔

起ル時チヤ〇胡ノ者凡カ万里カ間ニ烟塵ヲ飛バレテ合戦不絶

征馬長思青海上胡

笳夜聽隴山頭

我モ馬テリル今白カケ出ヤウカ明日カケ出ヤウカト常ニ青海アタリ來テ居ル胡ノ方ヲ防クヲ思テタルマズ居レハ胡笳ノ聲カ夜ノコ隴山

タリ問近ク聞ユルヘバラクモ帯ヒホトイテ居ル間モナイコトナヤ

水鼓子第一曲

是ハ大平ノ時ヲ云

雕弓白羽獵初回薄夜牛羊復下來

世間ガサワカシイト獵ラスル隙モナイカ今ハ治ツタ御世ナレハ雕弓ヲ帶ヒ白羽

ヲサレサシテ居ル獵人モ今朝行タ者カ暮方初テ歸タ〇薄夜ハ早ヤ暮合ナレハ野飼ニシテツイタ牛羊モ山ヨリ下リ來リ飯ル是モ軍事カナケレハ馬牛モイラヌ故野ガイニシテヲク  
夢水河邊青草合黑山峰外陳雲開  
軍ガアレハ草モフニカラシテ生テ子凡大平ノ時ニ夢水河ノホトリモ草

ガドコモハレゲリ合テアリ〇軍陣最中ニ黑山アタリニ陣雲ガソラニタナ引テ見エタガ今治ツタレハ其雲モヒラケテ太平ノ御代デアル

雜詩

是ハ征伐ニ來テ故郷ヲ述フ

陳祐

無定河邊暮笛聲赫連臺畔旅人情

唯今此無定河邊ノ暮方ニモノカナレバ笛ノ声ガスレバ赫連臺畔

ノ旅人ガサマシノ愁情ヲ引起シテ故郷ノヲヲ思ヒ出ス

函關歸路千餘里一夕秋風白髮生

吾ガ歸ル故郷ニ

關ノ方ヘ道ノリラスモツテコレハ遠カ千里モ有テ飯ルモノナラ子ハイヨク思フ時タレ故ノカタツタ一夜ノウチニ此秋風ノ吹ク時分白髮カニハカニ生シテ年カヨリシラガアタマニ成タ

イツ故郷へ飯ルヲヤラ知レヌ

初過漢江

無名氏

襄陽好向峴亭看人物蕭條屬歲闌

只今漢江ヲ渡リ襄陽ニ來テハ峴亭ノ風景ヲ見

レハ中々面白イ処ナレバ父ミノナレハ人事萬物モ物サビレクテハヤ追付年ノ闌ナルト年モ半過ル時節ニ當ツテ年モツキアラタラントスル頃チヤ

爲報習

家多置酒夜來風雪渡江寒

爲ニ報ス此ノ襄陽ニ習氏ノ富貴ナ者ガ有テ夫ノ地テ襄陽候カ古ヘ酒宴ナドラセラレタ

チヤ爲ニ報スルホトニ習家ノ衆中ハ置酒シテ我ニモ酒ヲノセ慰メテクレレヨコト今夜ハ風雪カシテ江ヲ過キ此方ニテ寒ク成タバウレテモ寒サラフセグ六酒ニコレタモノハナイ程ニ多ク置酒ヲメカレトナリ

胡笳曲

月明星稀霜滿野壇車夜宿陰山下

今夜ハ空モ晴々ニ月モサエ渡リ屋

又時分胡ノ者モガコノ月夜ヲ考ルハ壇車テリ中國ガケイノ陰山アタリノ宿ニテ中國ヲ侵サントバカチヲナラシテヲル

漢家自失李將軍

單于公然來牧馬

是上云都ニ上ノ李廣將軍ノヤウナヨイ大將カナイ故是ヲ知テ單于ノ胡モガ公然トオホテヤカニ中國ヲ憚カラス胡笳抄ヲ

吹立テ馬草ナドヲカフテ中國ヲアトトルヨイ大將カアラバ威ヲ恐レヤウカヨイ大將ノナイハ残念ナリダヤノ公然ノ字ノ内ニ胡笳ノヲヲ含ミ云フナリ

寒上曲

王烈

紅顏歲歲老金微沙磧年年卧鐵衣

若イ時カヨリクル年モ故郷ニ歸ルモノナラス老ニナル此

處ニ成リヲメ此沙磧ニクレ行キ幾年モ鐵衣ノヨロイニ子フレラシテヨロイヲ又イテ休息スル間モトク

白草城中春不入黃花成

上雁長飛

白草城中云其居ル處ハト云ニホトハ違テ白草城中テ寒イ處ナハイカ春ガヤヤスイツモ同ジヤウニシテ花ヲ見ルト云フヲモナクノ黃花成ノアタリハ

雁ノ三四時不斷イツモ他所へ行クヲモナク此處ニ居テ京トハ格別ナリ

又

孤城夕對戍樓閑廻合青冥萬仞山

邊塞ハ孤城テヨイヨウガイニナレ城モナレ日暮方此方ノ戍樓ノ向フニ



何ノ用モナク。打對シテ居ル。○又三月冥三。提筆ヘタク。クワイ。高イ。明鏡不須生白髮。風

沙自解老紅顏。鏡ヲ照ラシテ見ル。待ニ不及。知レテ居ル。ナゼナレバ此風ノ吹キマク

沙漠ニ居ル。鏡ヲ見イテモ。紅顏ノヲトクハ。自解シ合点シテアル。サレバイタミイコトナヤ

邊詞

張敬忠

五原春色舊來遲。二月垂楊未掛絲。邊土五原アタリ。八寒ノ氣ノツヨイ。所

正。是。長。安。花。落。時。即今漸々川バタノ氷解シ時分ガ○正シク。コレ都長。安ナドニ。咲

居ルハ悲シ。イコトナヤ。即今河。畔。冰。開。日。花モ散テ。春ノ未ゴロ。ナヤ。此ヤウナ。寒氣ノ強イ。処ニ久シク

居ルハ悲シ。イコトナヤ

九日宴

張謩

秋葉風吹黃颯颯。晴雲日照白鱗鱗。登高ノ節ニ。是モ登高ノ作ナリ。の上ツテ。ミ

ソラモ暗レワタリ。日照シテ。ワツカ。歸來得問。茱萸女。今日登高。醉幾人。カ山ヨ

殘。夕。白。雲。カ。鱗。々。ト。キラ。ク。見。ユ。ル。リ。來。レ。ハ。麓。ニ。百。婦。ヲ。子。丘。ノ。某。葉。ヲ。賣。ル。女。ガ。居。ル。カ。ラ。何。ト。今。日。ハ。大。勢。上。ツ。タ。テ。ア。ラ。フ。ガ。

幾。入。程。酒。宴。ヲ。レ。醉。タ。ノ。ト。問。フ。大。カ。タ。我。ガ。カ。リ。デ。モ。ア。ル。ミ。ド。レ。モ。ク。皆。ト。醉。タ。テ。ア。ラ。ウ。ト。ナ。リ。

西施石

樓頴

西施昔日浣沙津。石上青苔思殺人。西施ハ。呉王ニ。愛セラレタ。カ。昔。日。此。川。ハ

濯シタ。時。腰ヲ。カケ。タ。石。チ。ヤ。ト。云。テ。今。ハ。苔。ム。レ。テ。ア。ル。ガ。コ。ラ。一。去。姑。蘇。不。復。返。岸。傍。

通ル。ホドノ。者。ガ。此。石。ヲ。見。テ。ハ。西。施。ヲ。思。ヒ。出。サ。ヌ。者。ハ。ナ。イ。去。姑。蘇。不。復。返。岸。傍。

桃李為誰春。只此川ノ傍ニ。桃李ノ花ガ。咲ツレテ。アル。ガ。西。施。ハ。居。ヌ。ニ。誰。ガ。為。ニ。春。

景ヲ。オ。ス。ソ。ト。花。ニ。情。ヲ。モ。タ。セ。テ。フ。ク。ナ。リ。

和李秀才邊庭四時怨

盧弼

八月霜飛柳遍黃。蓬根吹斷雁南翔。此四首アレ。正。愛。ハ。秋。冬。ノ。二。首。ヲ。選。ヒ。出。シ。タ

霜。カ。飛。ヒ。柳。ナ。ド。モ。シ。モ。カ。モ。通。ク。黃。ハ。三。落。テ。寒。ク。ナ。リ。沙。漠。ノ。蓬。根。モ。風。ニ。吹。キ。タ。ヨ。サ。レ。テ。雁

頭。流。水。關。山。月。泣。上。龍。堆。望。故。鄉。早。三。龍。山。ノ。水。ノ。ス。カ。ミ。イ。ラ。キ。目。六。關。山。ノ。月。ハ

レ。ヌ。ト。思。ハ。悲。ヲ。ナ。シ。垂。ル。涙。ヲ。フ。サ。ヘ。セ。メ。テ。故。鄉。ノ。方。ヲ。見。テ。ナ。リ。ト。慰。フ。ト。思。フ。テ。龍。堆。上。リ。見。レ。左。故。鄉。ハ。見。エ。ヌ。イ。ヨ。ク。悲。ミ。ヲ。増。ス

思。フ。テ。龍。堆。上。リ。見。レ。左。故。鄉。ハ。見。エ。ヌ。イ。ヨ。ク。悲。ミ。ヲ。増。ス

又

朔風吹雪透刀瘢飲馬長城窟更寒

冬ノ朔風吹雪來リ合戰場ナレバ手負タ瘢ニミ渡テタカタイ馬ニ水カ

長城窟ノ番手ニ行テ見タシ雪ガ降リカ、

夜半火來知有敵一時齊保如貝蘭

夜半ハ相圖ノ火ガ來ルガ見ユル故ニサテハ敵ガセメ入ト云フヲ知テ大勢ノ者ハ時ニ齊ク出テ賀蘭山ヲ敵ニラシヌヤウニ大切ニ守リ居ルサテクモノスユイ

宴城東莊

崔敏立里

一年始有一年春百歲曾無百歲人

一年過レハ始メテ又イツニカワラヌ年ノ春ニガアル人間ノ壽命ハ百歲カギリトイヘ

能向花前幾回醉十千沽酒莫辭貧

能向花前幾回醉十千沽酒莫辭貧

奉和同前

崔敏童崔惠童ハイトコ同トナリ又ノ説敏童カ弟ナリト

崔惠立里

一月主人笑幾回相逢相值且銜杯

一月主人笑幾回相逢相值且銜杯

眼看春色如流水今日殘花昨日開

眼看春色如流水今日殘花昨日開

レナラテアラフ今日カヤウニ相逢夕時共々ニ酒宴シテ樂ムカヨイ

宿疎波驛

王周

秋深棠梨葉半紅荆州東望草平空

秋ノ最中ノノノハ棠ノ葉モ霜ニ深リ紅葉シテ見ユル此時分吾ガ故郷

荆州ノ方ヲ東ニ望ミ見レドコニテモ村里モ見エズ尺渺々ト阜バカリハ

誰知孤宦天涯

意微雨瀟瀟古驛中

意微雨瀟瀟古驛中

古驛ノ中ニ瀟々ト物サビシク難義ニ値フ

塞下曲

釋皎然

寒塞無因見落梅胡人吹入笛聲來

吾ガ來テイル関塞ハ寒イ処ナレバカタカラ梅花ヲミルト云フモナクイツガ春ヤラ知ラ子バ

梅花ノ落ルヲモ見ルト云フニハツチヤタラノ胡ノ者ガ來テ吹ク笛声ノ中ニ落梅ノ曲ヲキイテアル中々都ノヤウニ真ノ梅花ヲ目ニ見ルハナラヌ処へ來テイルテアル

七絶  
亭上春應度夜夜城南戰未回  
遙思ヒキツテミルニ我が故郷ノ榮々亭ノアタリ春モワタリ梅モ開イテ邊塞トハ格別テアラフガ歸テ

ミタケレバ夜々城ノ軍陣最中ナレバ道モ物心テ歸ルルモナラヌ

僧院

釋靈一

虎溪間月引相過帶雪松枝掛薜蘿  
虎溪ハ廬山ノ中ニアリ惠遠法師ノ居タ処僧院ニ假リ用ユ此ノ

僧院へ來テミレハ惠遠法師ノイラレタ虎溪厩同前ナ処テ月モ間ニテラシ月ノ光リニ引カレテコカシト過テ見レハ秋ノ末ノユ雪ヲ帶タ松枝ニ掛カシ薜蘿ガハラニ掛リ面白イ氣色ガヤ

無限青山行欲盡白雲深處老僧多  
此ノ僧院ノ近処ノ青山無限多イコトヤ此山ヲ皆チ悉クアルキツクサント

思テソコヲラミレハ白雲深キ処ニ種々ノ清僧タチノ引込テ御座ナサルハイカサハ人間トハ格別ナ物モツカナルチヤ

七絶終

後序

弁老評滄溟詩峨眉天外雪中看  
弁老ハ王元美ナリ明史王世貞本傳曰世貞自号鳳州又号弁州山人滄溟乃作

ク詩ヲ評判ノ夫ノ詩ノミハ高クノスルナルハ峨眉山ノ天外ニ從尊ヘタラ雪中ニミル如ク詩人多イ中ニモテ目タツト云々 其選唐詩亦復爾滄溟

ガ高イ眼ヲ以テアラシク詩ニ諸人ノ過刻ナリ云ホトヨイ詩ハカリヲアツメ出シタ 爾獨奈近來坊間諸本率屬孟浪

エラヒナルヲ近來ヒトリ書物屋ニトリアツコウ処ノ本モアルニヨクモイ詩ハフ不則何物狡サレイレテ孟浪トミタリチノニ成タ孟浪ハ莊子齊物論ニ出タル字ナリ

兒巧作五里霧芙蓉咫尺殆不可辨矣  
世上ニ流布スル処ノ唐詩訓解ト云モノハ何モクサルカレイモノシワザカ

漢ノ公超ガ道術ヲ以テ五里ノアイダニキリフアラセタヤウニ 今閱此刻剔抉幾盡

頓復舊觀三峰宛然在人目睫豈不愉快乎  
今コノ滄溟ガアラシク刻ヲ

ヲケヅリヲトス如ク剔抉シツクヲニカニ舊ノアラヒノ如ク正本ニカク唐詩ノ精密ナルノ

ミソロウテアルガ雲霧ニカクレタル芙蓉ノ山峯モキリハレ宛然トモトノゴトクニツモノサキニ

アラハレ誰ガミテチコノ集ハ千鱗ガアラヒソウナト云ヤウニシタハ豈不愉快乎滄溟嘗謂

テトキミヌイテハライカノ剔抉ハ韓退之ガ進學解ノ字ケツリツクス 滄溟嘗謂

不昧者心想當百年前爲子遷道  
コレニツイテ思ヒミルニ滄溟ガムカレ不昧者文

不昧者心ト云タガワレ祖來ガ思フニ百年ハカリ

以前ニ子遷南郭ガタメニ云クテラフ  
不昧者ハテ夫ハ藝苑厄言ニ出クリ

物姓ハ茂卿字テ題題ハタイナリ人ノヒタイハバンニ  
三九キテ九スフノ増ニシルスラ云

天明三年癸卯八月再刻

宇野耕齋塾版

三九  
七  
川  
市  
字  
家

華本  
翻刻

清人知不足齋藏書

春甚先生音孔傳古文孝經 小本冊出來

唐詩選唐音附 五言絕句 石峯先生画

同餘言 七言絕句 芙蓉先生画

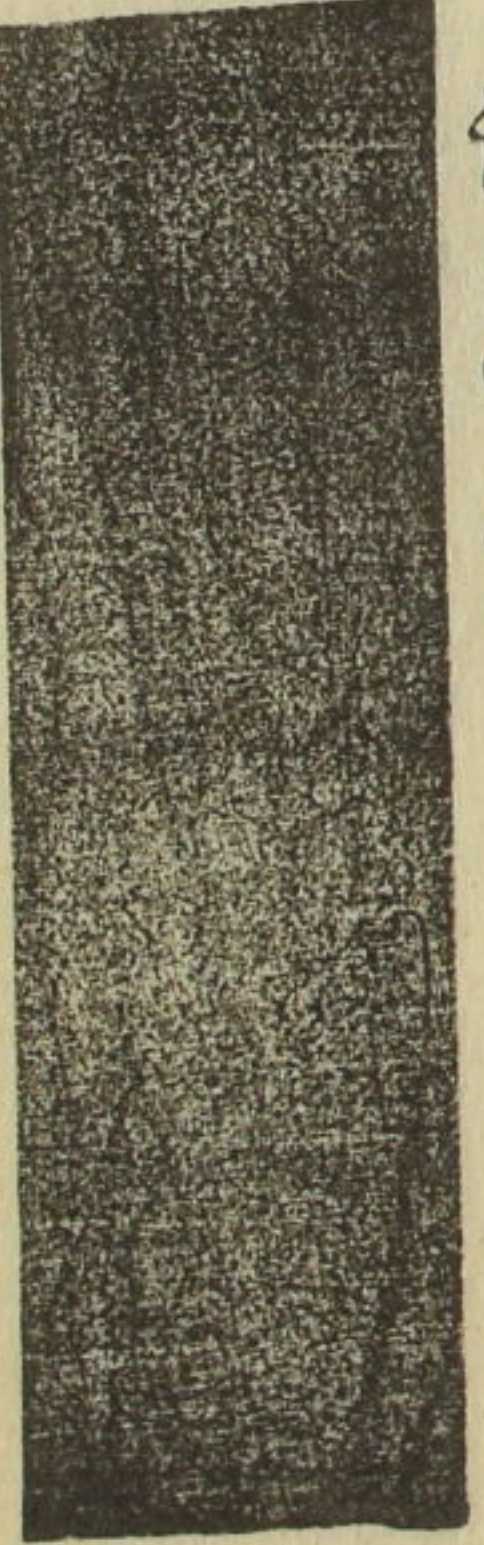
同箋註 右あ書、素子のたのし小中文、

同夷考 ひろのふとけ、あ、か、よ、こ、

同掌故 詩のあ、ろ、を、く、と、き、い、之

同大字素讀本

同片力十付



天明四年甲辰十月

書肆

江戸本橋南貳町目西側角

小林新兵衛梓

